

2020年度名古屋外国語大学授業評価アンケート結果総括

FD 委員会作業チーム委員長
高 梨 芳 郎

2020年度の授業評価アンケート調査は、名古屋外国語大学FD委員会のもとで、原則として学部、大学院、国際日本語教育インスティテュート（留学生別科）の全授業科目を対象にして実施された。実施期間は、学部は2020年12月16日（水）～2021年1月18日（月）、大学院は2020年12月16日（水）～2021年1月8日（金）で、国際日本語教育インスティテュート（留学生別科）は2020年12月4日（金）～2020年12月17日（木）であった。アンケート調査結果は集計され、各教員に結果が知らされ、評価結果について授業者からのアンケートを記述式で提出していただいた。本報告では、今後の授業改善に資する目的で、受講生による授業評価アンケート結果に、授業者からの回答結果も加えて、授業評価結果を総括するものである。なお、授業評価アンケートの項目内容については、「授業科目別評価結果」を参照いただきたい。

1. 学生への授業改善アンケート調査結果

(1) 回答結果の概要

本授業評価アンケートは、受講者総数 39,833 名（学部 39,703 名、大学院 35 名、国際日本語教育インスティテュート 95 名）を対象に Web システムで実施し、回答総数は 19,757 件（学部 19,715 件、大学院 25 件、国際日本語教育インスティテュート 17 件）で、回収率（回答総数÷受講者総数）は 50%（学部 50%、大学院 71%、国際日本語教育インスティテュート 18%）であった。なお、2019年度の全授業については紙媒体で授業時に実施し、回収率は 89%（学部 89%、大学院 95%、国際日本語教育インスティテュート 89%）であった。

(2) 個々の項目ごとの分析結果

① 授業満足度について

授業の満足度については、全授業で項目平均値は 4.2（5点法）（学部 4.2、大学院 4.8、国際日本語教育インスティテュート（留学生別科） 4.5）であった。参考までに、2019年度での全授業での項目平均値は 4.3（5点法）（学部 4.3、大学院 4.8、国際日本語教育インスティテュート（留学生別科） 4.3）であった。

学部については、外国語学部の学科ごとに見ても、英米語学科 4.2、フランス語学科 4.2、中国語学科 4.3、日本語学科 4.2、英語教育学科 4.2、世界教養学科 4.3 で、4 以上の高い満足度の数値であった。現代国際学部についても同様に、学科ごとに見ても、現代英語学科 4.3、グローバルビジネス学科 4.2、国際教養学科 4.1 で高い満足度を示す数値であった。世界共生学部世界共生学科も 4.3 で高い満足度であった。また、世界教養学部では、世界教養学科 4.2、国際日本学科 4.2 の高い満足度であった。科目系列等で見ても、ほぼ 4.0 以上の平均値で高い満足度であった。

一方、大学院については、全回答者数の約 90%（25 名中 22 名）が 5.0 の回答をして、

項目平均値は 4.8 の数値で、極めて高い満足度が示された。また、国際日本語教育インスティテュート (留学生別科)については、受講者数 95 名に対して回答数が 17 件であったが、満足度の項目平均値は 4.5 で、4.0 以上の回答は回答数全体の約 94%であった。

②出席・受講態度・シラバスの活用について

これらの 3 項目は受講者が自分の出席状況・受講態度、シラバスの活用 (登録前・履修中) について評価した結果である。これらの項目についての評価結果は、全授業の項目平均値はそれぞれ順に、4.7、4.5、3.5 (いずれも 5 点法) (学部 4.7、4.5、3.5、大学院 4.8、4.7、4.3、国際日本語教育インスティテュート (留学生別科) 4.7、4.6、4.4) であった。参考までに、2019 年度での全授業で項目平均値はそれぞれ、4.3、4.3、3.4 (いずれも 5 点法) (学部 4.3、4.4、3.4、大学院 4.9、4.8、4.3、国際日本語教育インスティテュート (留学生別科) 4.1、4.4、4.1) であった。また、シラバスの活用は、2020 年度においても、出席や受講態度と比べれば低い回答傾向が見られた。

学部については、外国語学部では、学科ごとに見ると、出席、受講態度は 4 台 (それぞれ、4.5~4.7、4.3~4.6 の範囲) で、シラバス活用は総て 3 台 (それぞれ 3.3~3.7) であった。現代国際学部の各学科についても、外国語学部と同様で、出席、受講態度は 4 台 (それぞれ、4.7~4.8、4.5~4.6 の範囲) で、シラバス活用は 3 台 (それぞれ、3.4~3.6 の範囲) であった。世界共生学部においても同様で、出席、受講態度は 4 台 (4.6、4.5) で、シラバス活用は 3 台 (3.3) であった。また、世界教養学部も同様で、出席、受講態度は 4 台 (それぞれ 4.6、4.5) で、シラバス活用は 3 台 (3.4、3.6) であった。一方、科目系列等で見ても同様で、出席、受講態度は総て 4 台で、シラバス活用は総て 3 台であった。

大学院については、それぞれ、4.8、4.7、4.3 の平均値で、シラバス活用についても 4 台の評価であった。国際日本語教育インスティテュート (留学生別科)についても、同様にそれぞれ、4.7、4.6、4.4 の平均値で、出席、受講態度、シラバス活用とも 4 台の平均値であった。

③授業進度、説明のわかり易さ、授業時間 (開始・終了)、熱意、私語への適切な処置、授業参加への配慮、授業レベルの適切性、授業への興味について

これらの 8 項目の評価結果については、項目平均値は全授業で 4.1~4.5 の範囲 (学部 4.1~4.5、大学院 4.6~5.0、国際日本語教育インスティテュート (留学生別科) 4.1~4.9) であった。これらの中で、国際日本語教育インスティテュート (留学生別科)を別にすれば、平均値が最も高いのは、共通して、教員の熱意 (4.5~5.0) と授業時間 (開始・終了) (4.5~5.0)で、最も低いのは、授業レベルの適切性 (4.1~4.6) と授業への興味(4.1~4.6)であった。参考までに、2019 年度のこれらの項目平均値は、全授業で 4.2~4.6 の範囲 (学部 4.2~4.6、大学院 4.4~5.0、国際日本語教育インスティテュート (留学生別科) 4.1~4.8) であった。

学部についても、同様に、外国語学部の学科ごとに見ると、総て 4 台 (各項目平均値の範囲は省略) であった。また、現代国際学部の学科については、3 学科とも総ての項目で 4 台であった。世界共生学部、世界教養学部も同様であった。科目系列等で見ても、4.0 以上の平均値の科目群がほとんどで、ほぼ高い評価結果であった。

大学院については、それぞれ、4.6~5.0 の平均値で、8 項目すべてについて極めて高い評価結果となっている。国際日本語教育インスティテュート (留学生別科)についても、4.1~4.9 の平均値で、同様に、8 項目すべてについて高い評価結果となっている。

2. 学生の授業改善アンケート調査結果に対する教員アンケート結果

受講生による授業評価結果について多くの方から記述式の回答をいただいた。ここでは、典型的な回答と判断できる記述内容についてごく一部を紹介する。

(1) 受講生からのアンケート結果の受け止め方

- ・授業でよかった点と今後の課題が明確になった。
- ・学生の受けとめ方が数値化されていて、今後の講義に対する改善の参考になった。
- ・遠隔授業でも学生が興味を持って話し合い、考えを深めてくれたことが分かった。
- ・遠隔授業に多くの学生が積極的に参加し、学習成果が得られたことが示された。

(2) 授業で解決すべき課題

- ・遠隔授業で学生の授業参加意欲を向上させる工夫や改善の必要を痛感した。
- ・何よりも遠隔授業の受信環境の整備が問題である。Wi-Fiやマイクの調子が悪い学生が複数いれば、演習や発表は十分に実施できない。
- ・遠隔授業でも資料の充実が重要である。
- ・I needed to find more ways for students to participate actively in class despite being online.

(3) 授業での工夫

- ・遠隔授業では、発信側である教師のPC環境の整備から着手した。安定した送信状態を保つため、Wi-Fiに替えてLANケーブルを使い、マイク、カメラ等の備品も整備した。学生への課題は出題の的を絞り、適量に配慮した。
- ・学生同士のディスカッションをZoom、ムードル上で4技能を用いて実施させた。ディスカッションのトピックも時機にかなう、興味を持てるものに配慮した。
- ・学生が書き込みをしたり、自分で調べたり、発表をしたりして、参加型の授業になるように努力した。
- ・This year face-to-face sessions are helpful for encouraging active participation, and I am using Zoom for all online classes to allow students time to interact with each other.

(4) FDへの意見

- ・タイムリーなテーマで大変参考となる講座の開催に感謝している。
- ・詳細なデータを提供いただいたので、分かりやすい講義の実現に努めたい。
- ・FDでは、新しい有用なPodcast、TEDなどの共有ができるとありがたい。
- ・同じ科目の先生方と話し合いのチャンスがあるとよい。

3. まとめ

学生による授業評価アンケート結果から、遠隔授業を主とした授業であっても、本学の授業評価は、大学全体、学部・大学院・国際日本語教育インスティテュート（留学生別科）、科目系列ごとにおいても、従前と同様に概ね良好な結果が得られた。受講生によるアンケート結果に対する先生方の真摯な回答結果に示されているように今後も適切な評価を含めた授業改善の更なる取り組みを全学的に進めていきたいものである。

2020年度2期授業改善のためのアンケート調査－学科分析結果

| | | | |
|------|-------|-----|------|
| 組織名称 | 英米語学科 | 担当者 | 川原功司 |
|------|-------|-----|------|

1. 調査結果の概要

英米語学科に関連する調査結果は6つに分類されている。分類の内訳と各回答数及び回答率は以下のとおりである。

- 1) 英米語学科における以下2)～6)の授業評価結果の総計(回答数4,678名、回答率52%)
- 2) 専門ゼミナール(回答数347名、回答率57%)
- 3) 専攻言語プログラム/専攻語学(PUTを除く)(回答数2,129名、回答率51%)
- 4) コース科目・学科提供プログラム、世界教養プログラム〔基盤〕/〔応用〕
(回答数986名、回答率51%)
- 5) 学部共通英語基幹プログラム(PUTを除く)(回答数625名、回答率59%)
- 6) PUT(回答数247名、回答率62%)

上記分類から、特に英米語学科科目である2)と3)、および学科科目であるコース科目を含む4)を対象として項目ごとの分析をする。

2. 項目ごとの分析結果

◎ 専門ゼミナール

オンライン授業主体になったためか、例年よりは授業満足度の評価が0.1下がったが、全体的に高評価を得ている。また、ほとんどの項目においてほぼ全体平均をやや上回っていた。しかし、授業に対する学生の取り組みを表す「B-5 この授業で指定された教科書、参考書等を十分に活用した。」が4.0点と平均で0.3点下回っている。なお2019年に続き、6割以上の回答者が最高評価の5を選択していることから、ゼミナールに対する満足度は高いと考えられる。

また、「B-①この授業には休まず出席していた。」が全体平均で4.7、学科平均でも4.6と例年になく高い評価を得ている。これは、就職活動があってもオンライン授業であれば容易に参加できるためであると考えられ、今後も4年生ゼミの前期はオンライン開講の可能性を考えてよいかもしれないことを示唆している。

◎ 専攻言語プログラム

全体的にほとんどの項目において、大学全体の平均値と同等の結果となっている。シラバスの活用についての項目以外はすべて4.1点以上の平均値を得ている。

教員の熱意を問う項目では4.5点と高評価を得ている。この評価から、教員の授業に対する熱心さ

と語学学習に必要な積極的授業参加の配慮について学生の満足度が見られる。4年生を除き必修科目である点、および学科の全体数を考慮すると、毎年この平均値を維持しているのは、英米語学科における語学プログラムの成果および、教員の努力が大きく影響していると考えられる。

◎ コース科目／学科提供プログラム、世界教養プログラム〔基盤〕／〔応用〕

全体的には、ほとんどの項目において4.2点以上の評価を得ていることから、受講生が概ね好意的な評価をしていることがわかる。また、全体平均よりも評価は少し高い。平均点より下の項目は「B-①この授業には、休まず出席していた。」の回答で、平均点より0.1点低かった。

3. 今後の授業改善に向けて

初のオンライン授業ということで、アンケートの回収率が一気に悪くなったのは仕方がない。授業時間にアンケートに答える時間を一律に設ける必要があったかもしれない。

回収率が半分から6割という数字だけで判断してみると、授業満足度自体は例年とさほど変わらない(0.1ポイント下)のにも関わらず、授業の出席率は高くなっている傾向がある。これは、アンケート回収に協力する学生はオンライン授業に抵抗感がなかったためであるという母数の偏りを考慮に入れても、今後の授業運営において参考にしてよい数字になりそうである。特に、専門ゼミナールの出席率が大幅に向上している(0.4ポイント)のは特筆に値し、授業担当者としての体感にも合う。

また、教員コメントにも寄せられたが、オンライン授業によりフィードバックが充実した点が学生に好評という面がありそうであり、Google Classroomなどのプラットフォームの活用は今後も継続していければよさそうである。専攻英語の授業では、Core Englishなどのアクティビティ系の満足度は教師・学生共に低めかもしれないという印象があるが(ただし、予想していたよりは低くはない)、writingは総じて高そうである。これも今後の授業運営の参考になりそうなデータである。そして、オンライン授業は対面授業よりも、できる学生とできない学生の格差がより広がっている印象を持っている教師が多いようであるということは付け加えておきたい。

2020年度2期授業改善のためのアンケート調査－学科分析結果

| | | | |
|------|---------|-----|------|
| 組織名称 | フランス語学科 | 担当者 | 武井由紀 |
|------|---------|-----|------|

1. 調査結果の概要

フランス語学科の全体的な集計結果については、四学部全体の全授業にかかわる集計結果を示す「全体平均」と比べた場合、ほぼ同値であるものが傾向として多く、次いで「全体平均」を0.1ポイント上回るものと下回るものがそれぞれいくつか見受けられる。このことから、概要としては総じて平均的な評価であると分析できるように思われる。2019年度の集計結果では全体的に平均を下回る評価が多くを占めていたことを考慮すると、今回2020年度の結果としては、前年度よりも評価がやや積極的になったと捉えることができそうである。

系列ごとに見た場合、「専攻言語プログラム」ならびに「PUT、A-PUT」の結果については、学科平均が「全体平均」と同じ、あるいはそれを上回る項目が多く確認できる。また、「専門ゼミナール」の学科平均は、授業内容にかかわる項目においては「全体平均」を上回る項目が多く見られる。他方、学科の「専門科目群・コース科目」の平均は、「全体平均」よりも0.1ポイントから0.3ポイント低い数値が多くの項目で出ている。従って、学科の傾向として、「専門科目群・コース科目」よりも「専攻言語プログラム」と「専門ゼミナール」の方が高い評価を得ていることが指摘できる。

2. 項目ごとの分析結果

「専攻言語プログラム」では、「満足度」、「分かりやすさ」、「教員の熱意」、「興味が持てたかどうか」の項目において、いずれも「全体平均」を上回っている。また、基本的には1年次から初習言語として取り組むフランス語の授業を履修して、目標とされている外国語の能力を伸ばすことができたかを問う項目でも「全体平均」を0.3ポイントも上回る数値を示している点は、学科内のチームティーチングや情報共有等の効果が反映されているのではないかと考えられる。また、「専攻言語プログラム」の一部でもある「PUT」「A-PUT」の結果に着目すると、授業内容にかかわる質問項目では、「開始・終了時間」と「教員の熱意」のみが「全体平均」を0.1ないし0.2ポイント下回るものの、それ以外はいずれも「全体平均」を上回っているため、「専攻言語プログラム」については、総じて学生が好（高）評価をしていることが窺える。

「専門ゼミナール」では、「分かりやすさ」、「教員の熱意」、「積極的に授業に参加できるような配慮」、「興味が持てたかどうか」の項目が、いずれも「全体平均」を上回っており、「教員の熱意」と「興味が持てたかどうか」では「全体平均」より0.3ポイント高い評価を得ている。

一方、「専門科目群・コース科目」では、「興味が持てたかどうか」の項目のみ「全体平均」と同値を示すに留まり、それ以外の授業内容にかかわる質問項目においてはいずれも「全体平均」を0.1から0.3ポイント以内で下回る結果が示された。この「専門科目群・コース科目」は、2019年度の新カリキュラム以降、1年生を対象とした「学科基盤」三科目に代表されるように、新設科目の配置が最も多くなされた系列群であり、今回調査の大半の回答数を占めている19生と20生は2期開講に限定されるものの、この新カリキュラムに対する評価を行っていることになる。学科の全体的な評価が少なからず「全

体平均」より低い傾向が認められるため、この結果だけに依存するのではなく、学生の意向をより詳細に把握することができるような機会を設けて、要因を探ることに努めたいと考えている。

この他、基本的には1年生が履修対象である「学部共通英語基幹プログラム」では、授業内容にかかわる質問項目において、「積極的に授業に参加できるような配慮」は「全体平均」と同値を示しているが、それ以外の項目では、いずれも「全体平均」を0.1から0.3ポイント以内で下回る結果が示された。また、旧カリキュラムと新カリキュラムが混在している状況ではあるものの、2年生から4年生のフランス語学科生を対象とする「複言語プログラム」（英語科目）では、授業内容にかかわる質問項目において「全体平均」と同値ないし同値以上の評価が多く見受けられることから、こちらは比較的良い評価がなされていると思われる。いずれにしても、新カリキュラムのみを対象とする調査結果が得られるまで、引き続き、注視していきたい。

3. 今後の授業改善に向けて

2020年度の結果を総合的に評価すると、学科の評価としては総じて平均的な評価ではあるものの、1.と2.で述べたように、系列によって全学の「全体平均」よりも低い評価が示されたものと、高い評価が示されたものに分かれた。いずれの評価も確実な要因の断定は難しいが、低い評価が示された「専門科目群・コース科目」については学科内で情報を共有し、今後の改善に向けた建設的な議論に役立てたいと考えている。

2020年度2期授業改善のためのアンケート調査－学科分析結果

| | | | |
|------|-------|-----|------|
| 組織名称 | 中国語学科 | 担当者 | 船越達志 |
|------|-------|-----|------|

1. 調査結果の概要

2020年度回答数は、学科全体で見ると、1年次生（20生）248、2年次生（19生）311、3年次生（18生）62、4年次生以上（17生以前）62、不明0、合計683となっている。回答率は40%（昨年90%）である。例年に比して回答した者の数が大幅に減少した。特に昨年の回答率90%と比較するとその差は顕著である。とりわけ3・4年次生の回答数が低い。2019年度までは、授業中に教室でアンケートを書かせていたが、2020年度はコロナウイルスの流行により、アンケートもオンライン上で行うことになった。回答率の大幅な減少は、恐らくその為であろう。したがって、以下の結果も低い回答率の上での数字であることを念頭において見る必要がある。

評価結果は各項目とも概ね全学平均と同じ4点台であり、授業満足度は高いと言えよう。

2. 項目ごとの分析結果

主な質問項目について、授業科目群別の調査結果を以下に示す（括弧内の数字は昨年2019年度の数字）：

| | A①満足度 | C②分かり易さ | C④熱意 | C⑥授業参加 | D①レベル | D②興味 |
|----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 専攻言語・専攻語学 | 4.2(4.4) | 4.2(4.4) | 4.5(4.6) | 4.2(4.5) | 4.1(4.2) | 4.2(4.3) |
| PUT（中国語PUT） | 4.7(4.7) | 4.7(4.6) | 4.7(4.6) | 4.8(4.8) | 4.5(4.7) | 4.7(4.7) |
| コース科目（世界教養プログラム基盤含む） | 4.3(4.2) | 4.4(4.3) | 4.7(4.6) | 4.3(4.2) | 4.2(4.0) | 4.3(4.2) |
| ゼミ | 4.6(4.4) | 4.6(4.5) | 4.7(4.7) | 4.6(4.5) | 4.6(4.2) | 4.7(4.4) |
| 1年英語 | 4.3(4.3) | 4.1(4.4) | 4.4(4.7) | 4.6(4.3) | 4.0(3.9) | 4.2(4.1) |
| 2年英語 | 4.2(4.1) | 4.5(4.3) | 4.6(4.3) | 4.2(4.0) | 3.9(4.0) | 3.9(4.0) |
| 全体平均 | 4.3(4.3) | 4.3(4.4) | 4.5(4.6) | 4.2(4.4) | 4.1(4.1) | 4.2(4.2) |

2020年度は、ほぼ丸一年間遠隔授業（オンラインが中心）という前例のない事態であった。各教員ともに初めての経験で、模索の一年であったと思われるが、数字としてはほぼ例年なみの結果が出ており、安堵しているところである。

以下、上の表に基づき、カテゴリーごとに分析をしていく。

まず、「専攻言語プログラム（専攻語学）」であるが、回答数は1年（20生）94、2年（19生）130、3年（18生）19、4年以上（17生以前）12となっている。回答率は39%にとどまり、全体の状況を把握するのは難しい。とりわけ3・4年は回答数が低く、上表の数字は、1・2年の結果として見るべきであろう。昨年度と比較すると、いずれの項目も0.1～0.3の幅で下降した。これは、全面オンライン授業となった事と関連あるのではないと思われる。「積極的に授業に参加できるよう配慮されていた（C-⑥）」の項目は0.3も下降したが、一方、「教員の熱意（C-④）」は例年通りの高い数字が出た（5を選択した学生が159名、4を選択した学生が65名。平均4.5）。教員は熱意をもって授業をおこなっているが、オンライン形式ではどうしても積極的な「学生の授業参加」に限界がある、という実態が見て取れよう。また、本学科の専攻言語・中国語は、学生にとって初修の言語であり、とりわけ1・2年次は発音の習得が中心となる。発音指導においてはオンラインでは限界があり、教室での対面指導には及ばない。こういった事情も関係しているのかもしれない。しかし各項目で下降したとはいえ、いずれも4点台に留まっている。「全体として満足であった（A-①）」では、5を選択した学生が121名で最も多く、4を選択した学生も83名でそれに次ぐ。オンラインという制約がある中では、健闘している、と言えるであろう。一定の教育効果を上げたとみてよいのではないか。

次に「PUT」であるが、回答数の内訳を見ると、2年29名、3年7名、4年以上7名となっている。したがって上表の数字は、主に2年PUTに対する評価を反映していると考えられるべきであろう。いずれの数字も極めて高い数字が出ており（4.7～4.8）、学生の満足度は高いと言える。例年通りである。中国語のPUTは、学生4人に教員1名、という体制なので、オンライン形式でもスムーズに対面同様の授業が展開できたようである。とりわけ「授業に参加できるよう配慮されていた（C-⑥）」は4.8という高い数字が出ており、「PUT」の特性でもある「積極的に会話をする機会」が、今年も充実していたことが窺える。

次に「専門科目群/コース科目/世界教養プログラム」である。例年記述していることなのだが、集計された数値は「世界教養プログラム」の回答と混在したものとなっているため、「中国語学科の専門科目群（コース科目）」のみに対する正確な数値が把握できない。今後、統計の方法を改善していただければ幸いである。結果は、ほぼ例年並みで、いずれも昨年より若干数値が上昇している。「教員の熱意（C-④）」は4.7に達した。語学とは違い、講義系の科目は、オンライン形式でも特にマイナス面はなかったようである。

「ゼミ」は、回答数が3年9名、4年以上12名で、回答率はわずか20%である。したがって全体の把握は、やはり難しいと言わざるを得ない。上表の数字を見ると、いずれの項目も高い数値が出ている。未回答の残り80%の学生がどのように評価しているのか気になる所である。

「英語」科目に関しては、中国語学科では分析のしようがないので、ここでは述べない。

3. 今後の授業改善に向けて

オンライン形式がいつまで続くのか、という点がまずは問題である。2021年度は、ハイフレックス型が中心となり、2020年度とはまた大きく変化した。教室にいる学生とオンライン上の学生の双方に注意を配るのは容易なことではなく、また、機械操作などの技術的な能力も必要になる。一日も早くコロナウイルスの流行が収束し、全面的な対面授業の再開を希望する。

2020年度2期授業改善のためのアンケート調査－学科分析結果

| | | | |
|------|-----------------|-----|-------------|
| 組織名称 | 学科 日本語学科・国際日本学科 | 担当者 | 中北美千子（教務委員） |
|------|-----------------|-----|-------------|

1. 調査結果の概要

アンケートは2020年2期末に外国語学部日本語学科と世界教養学部国際日本学科を対象に実施された。集計は日本語学科と国際日本学科に分かれており、これによれば、日本語学科の集計表では受講者数546名に対して回答数は272（回収率50%）で、回答数の内訳は、20生から17生以前に渡る。国際日本学科の集計表では受講者数136名に対し回答数100（回収率74%）で、回答数の内訳は20生から18生にわたる。

これは、本学科では19生（現3年生）からが国際日本学科、18生（現4年生）および17生以前（数名の留年者）が日本語学科であり、いずれにしても学年定員60名であることを考えると、新旧両学科所属のアンケート回答者に何らかの混乱があったと考えるべきであろう。このため、数字についてはあまり詳細に論じることは適切と言えないが、このアンケートに回答した学生達の意見に何らかの傾向を見だし、今後の授業改善のヒントとしたい。

2. 項目ごとの分析結果

本アンケートの結果には、前年度までの授業改善アンケートとの大きな違いがある。それは満足度の著しい低下である。どの項目でも、前年度まで決して多くはなかった「3 普通」の回答が大きく増え、ほとんどなかった「2 あまりそう思わない」も相当数見られるようになり、例年はゼロかそれに近い回答数だった「1 そう思わない」も一定数が選択した。これは特に、「日本語学科」として集計されたファイルで顕著な傾向である。

さらに、科目系列ごとに見た場合、満足度の下落の度合いがもっとも深刻なのは、「系列06」の、専攻言語科目科目である。表1に「日本語学科」として集計された回答数、表2に「国際日本学科」として集計された回答数を引用する。例年であれば「5」と「4」に偏っていた回答が「3」や「2」にシフトしている様子がわかる。

表 1 質問別回答集計表(日本語学科、系列 06 専攻言語プログラム)

| | |
|-------------|---|
| (教員コード) 教員名 | |
| 科目コード | 曜日 |
| 授業コード | 講時 |
| 授業科目名 | (学部) 06 (外)専攻言語プログラム/専攻語学(PuTを除く)、(院)Basic English-Applied English、(共・教)専攻言語プログラム 04 日本語学科 |

| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-----|------|------|
| 20生 | 2 | --- | --- |
| 19生 | 15 | --- | --- |
| 18生 | 80 | --- | --- |
| 17生以前 | 35 | --- | --- |
| その他 | 0 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 132 | 250 | 53 % |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とてもそ う思う | 4 ややそ う思う | 3 普通 | 2 あまりそ う思わな | 1 そうは 思わない | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|---|------------------|-----------------|-----------------|-------------------|------------------|---------|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 59 | 39 | 24 | 7 | 3 | 0 | 4.1 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 89 | 29 | 11 | 3 | 0 | 0 | 4.5 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 65 | 54 | 12 | 1 | 0 | 0 | 4.4 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 40 | 36 | 40 | 11 | 5 | 0 | 3.7 | 3.5 |
| B-4 この授業に関して予習、復習などを積極的に行なった。 | 29 | 40 | 25 | 2 | 3 | 33 | 3.9 | 4.0 |
| B-5 この授業で指定された教科書、参考書等を十分に活用した。 | 20 | 11 | 14 | 2 | 1 | 84 | 4.0 | 4.3 |
| B-6 この授業により、次の取り組みのいずれか1つ以上について積極的に行うようになった。・聞く ・話す ・読む ・書く | 19 | 26 | 17 | 0 | 2 | 68 | 3.9 | 4.2 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 57 | 33 | 30 | 10 | 2 | 0 | 4.0 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 早すぎる 5 | 3 少し早い 4 | 2 少し遅い 2 | 1 遅すぎる 1 | 未答 0 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 61 | 37 | 20 | 12 | 2 | 0 | 4.1 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 82 | 25 | 17 | 6 | 2 | 0 | 4.4 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 91 | 27 | 14 | 0 | 0 | 0 | 4.6 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 74 | 21 | 36 | 1 | 0 | 0 | 4.3 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 60 | 47 | 19 | 5 | 1 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 52 | 43 | 26 | 11 | 0 | 0 | 4.0 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 高すぎる 1 | 3 少し高い 10 | 2 少し低い 0 | 1 低すぎる 0 | 未答 0 | | |
| D-② この授業に大変興味を持った。 | 69 | 37 | 19 | 5 | 2 | 0 | 4.3 | 4.1 |
| D-3 この授業を履修して、目標とされている外国語の能力(話す能力、書く能力、聴く能力、読む能力のいずれか、あるいはその組合せ)を伸ばすことができた。 | 19 | 16 | 15 | 2 | 0 | 80 | 4.0 | 4.1 |
| D-4 【複言語・エアランゲージズのみ】 この授業により、複言語またはエアランゲージズで履修した言語の文化への興味を持つことができた。 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 132 | 0.0 | |

3. 今後の授業改善に向けて

上述の通り、今回の集計結果については、そもそも回答数に何らかの混乱があったことが伺える。4学年合わせて240名前後のはずの「受講者数」が2つの集計表合わせて740名となっているなど明らかにおかしな点がある。

にもかかわらず、学科教員として実際に専攻言語科目を担当する者としては、満足度の大きな下落が、特に専攻言語科目において顕著であるという結果には、「何かの間違い」で済ませることのできない危機感を抱かざるを得ない。20年度に入ってコロナ禍の影響を受ける前は、本学科では、少人数クラスで対話を重視した学習者主体の授業運営が主流であり、大人数のクラスで一方向的に講義を聞くだけというスタイルはゼロに近い状態だったはずである。「講義」という位置づけの科目であっても、実際の授業では必ず学生に問いかけ、小グループでのディスカッションなどを取り入れて、対話の中で学生が自ら考えることのできる仕掛けを作ること非常に力を注いできた。それに対する学科生の満足度は例年であれば全学や学部の平均を上回っていた。全面オンライン授業となってからも同時双方向方式でzoomのブレイクアウトルームを駆使して学生同士の意見交換の機会を設けてきた科目が多いが、このような教員の努力と負担は必ずしも学生の満足度に繋がるわけではないという当たり前の事実を今一度胸に刻み、授業改善のための更なる努力と学生のニーズ把握に努める必要がある。

2020年度2期授業改善のためのアンケート調査－学科分析結果

| | | | |
|------|--------|-----|------|
| 組織名称 | 英語教育学科 | 担当者 | 高橋直子 |
|------|--------|-----|------|

1. 調査結果の概要

2020年度はコロナ感染拡大においてオンライン授業が1年間続いた。その中で行なった授業改善のためのアンケート調査に対する学科の回収率が27%であったことから、学生の意見をしっかりと把握できたとは言い難い。しかしながら、アンケートの各項目に対しての学科平均は、シラバスの活用についての項目以外は平均値がすべて4.1以上であったという結果から、対面授業からオンライン授業に切り替えた中でも、ある程度学生の授業への満足度を確保できたということが読み取れる。特に平均値が高かったのは、学生による出席と受講態度、そして教員の授業の取り組みに対しての項目である。オンライン授業を初めて試みた年に、学生から教員の授業への取り組み姿勢に対して高い評価を得られたことは大変喜ばしい。その一方で、例年と比べるとほとんどの項目で0.3から0.5点ほど平均値が下がっていることが観察された。オンライン授業によるマイナス面をどう克服していくかが今後の課題となる。

2. 項目ごとの分析結果

調査の中で最も高い評価を得られた項目は「この授業には休まず出席した。」であり平均は4.7であった。これは、学生が自宅からオンライン授業を受けられる体制ができ、通学の困難さが無くなったことがあって得られた結果だと言える。また、「この授業には真剣な態度で出席した。」の平均が4.5であり、オンライン授業の中でも学生が前向きな姿勢で取り組んでくれたと言えるだろう。

他に評価が高かった項目は「教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。」と「授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。」であり、それらの平均は4.5であった。その次に評価が高かった項目として「授業の進み具合は適切であった。」が挙げられる。これらの結果から、教員の授業への取り組み姿勢に対して、学生にある程度評価してもらえたと結論付けられる。

一方で、学科全体の平均値が低かった項目は、「この授業の登録前または履修中にシラバスを活用した。」という項目で、平均は3.3であった。この項目は毎年平均が3点台を示しているが、各学期の開始時期だけでなく、学期全体を通したシラバスの活用を学生に促す必要がある。また、「この授業で指定された教科書、参考書等を十分に活用した。」という項目の平均は例年より低い4.0であったが、昨年度の状況を考えると、学生が大学キャンパスに来られず教科書を購入できなかったことや、教員が授業で教科書を使用せず、その代わりに、オンライン上でパワーポイントやワードファイルなどを使って独自の教材を用意したという理由などで、この項目が例年よりも低い評価になったのではないかと考える。

結論として、オンライン授業継続による学生の授業評価の結果を心配していたが、全体に平均値が下がったものの、比較的高い評価が得られていることが分かった。今後もIT技術の発達とコロナ感染対策に関連して、何らかの形でオンライン技術を授業の中で活用していくと考えられるが、より良い授業内容と授業体制の継続が望まれる。

3. 今後の授業改善に向けて

まず、上記で述べたように、「授業の履修中にシラバスを活用した。」というアンケートの項目の評価が低かった為、授業内でシラバスを繰り返し活用させる工夫が必要である。また、今後の授業改善に向けて、記述式の教員アンケートの中からいくつか重要と思われるものを以下に挙げる。

- ・ 連日のオンライン授業に於いて精神的に参っていると告白する学生が1クラスに複数いる場合もあり、授業中にもその配慮に努めた。そして、まず何より学生側によるオンライン授業を受ける環境の整備が問題である。Wi-Fi やマイクの調子が悪いと言われれば、ロールプレイの時はその学生を飛ばさなければならないが、そういう学生が複数の場合は、とても不公平な印象の授業となってしまう。
- ・ リアルタイムの授業ではグループ編成に留意するべきだと思う。
- ・ 遠隔授業の場合、学生の授業参加意欲をどう向上させるのか工夫・改善する必要性を痛感した。
- ・ 予習、復習を積極的に行ったと回答した学生が平均を下回っており、自宅での学習の方法を指導する必要性を感じる。
- ・ Zoom では徐々にビデオオフにして顔を出さなくなり、様子がわからないので、やはりビデオオンにして、様子を見ながら進める必要がある。
- ・ オンライン授業では、対面授業と同じく資料の充実が重要である。
- ・ 学生が主体的に授業に参加できる様に、ディスカッションを小グループで行ったり、毎時間振り返りシートを提出させるような工夫が必要である。
- ・ オンライン授業における、課題の量や、出席の取り方など工夫していきたい。
- ・ 毎回、学生が授業内容を理解しているか確認するために、用語説明や授業中に教えたフレームワークに基づいた簡単な事例分析を行わせている。その上で、翌週にフィードバックの時間を多めに取り、良い回答例・不十分な回答例を学生と共有し、理解を深めることを図っていきたい。
- ・ 同じ科目の先生と話し合いのチャンスがあると、授業改善に繋がる。
- ・ Management of private conversation needs work. I interpret this to mean students wanted more discussion (as being online disruptive talk was not an issue).
- ・ I will be making more effort to ensure students use the portfolio system and to revisit old work with them so they can realize their own progress better.
- ・ I will check in with students about materials as we go to see if they are too difficult. I will also encourage students to find their own materials.
- ・ I may implement an "easy" level homework and an optional "challenging" level for students who have different abilities.
- ・ I provided adequate opportunities for the students to speak boldly and express their opinions. As I always emphasize, expressing yourselves regardless of making mistakes or giving the wrong answer. Besides pair work and group work, the students were required to give presentations in class. This initiated active learning and provided diversity to the course. The students enjoyed the learning process and made some friends.

2020年度2期授業改善のためのアンケート調査－学科分析結果

| | | | |
|------|--------|-----|------|
| 組織名称 | 世界教養学科 | 担当者 | 松山洋平 |
|------|--------|-----|------|

1. 調査結果の概要

いずれの系列の科目も、「とてもそう思う」と「ややそう思う」を選択した学生の割合が多く、授業に対する満足度が全体的に高いことがうかがえる。

複数の系列間、あるいは、学科と全体平均とのあいだに有意な数値差は認められない。

アンケートからは学科独自の問題点は見いだせず、それぞれの系列でバランスよく満足度の高い授業が提供されているとすることができる。

2. 項目ごとの分析結果

- 全体的に、英語科目への意欲が高く、ポイントも高い。
例えば、英語基幹プログラム（P u T）について、「この授業に関して予習、復習などを積極的に行なった」との質問への回答ポイントは4.5であり、全体平均の4.0を0.5ポイント上回っている。
- 学科の専門ゼミナールへの満足度は非常に高い。
「この授業は、全体として満足であった。」および「この授業に関して予習、復習などを積極的に行なった」との質問への回答ポイントは、ともに全体平均のポイントを0.6上回っている。

3. 今後の授業改善に向けて

- アンケートの結果から、世界教養学科の学生は、自らの学習態度についての評価、ならびに教員の授業内容についての評価も高く、満足度の高い学習が行われていることがわかる。
- 教員向けの記述式アンケートでは、遠隔授業の実施について問題が指摘されている。
しかし、2021年度Ⅰ期においては、教員および学生が遠隔授業に慣れるとともに、多くの科目について教室における対面授業が再開された。また、2021年度Ⅱ期には、ほとんどの科目で全面的な対面授業が再開される予定である。そのため、遠隔授業の実施に伴って生じた問題は、おおむね解消に向かっているといえることができる。
- 全面的な対面授業が再開された後に、オンライン授業がデフォルトだった新入生などの間に、何らかの問題が発生する可能性もある。その場合は、学科オリエンテーションや、学期中のアドバイザーによる指導の徹底により、対処する必要がある。

2020年度2期授業改善のためのアンケート調査－学科分析結果

| | | | |
|------|----------------|-----|-------|
| 組織名称 | 学科 グローバルビジネス学科 | 担当者 | 大濱、磯村 |
|------|----------------|-----|-------|

1. 調査結果の概要

グローバルビジネス学科の学生による講義全体への評価は好意的に高く、その度合いは全学部での講義全体への評価と変わりがない。特に好意的な評価をしているのが PUT であり、殆どのアンケート項目において、とてもそう思う、の割合が8割を超えている。

全体的に、シラバスを参考にしている学生は半分程度。

2. 項目ごとの分析結果

(取り上げる項目は任意です)

ビジネス学科の専門基礎科目のアンケート結果で、授業レベルが高い、進み具合が早いと感じている学生が約2割いる。その他の専修科目では、授業レベルが高い、の割合が下がるため、大学の講義方式への慣れの問題なのか、基礎科目のレベル設定が高すぎるかのいずれかと判断している。その他の項目は (PUT を除いて) 同じ傾向があり、また全学部の傾向と変わらない。

3. 今後の授業改善に向けて

評価は例年通りであり、先生方が学生に迎合することなく、講義内容を理解させる努力をして頂いている。今後もお願いしたい。

なお、現在カリキュラム変更の最終検討段階であり、可能な限り、本アンケートの結果を反映したものにしていきたい。

2020年度2期授業改善のためのアンケート調査－学科分析結果

| | | | |
|------|--------|-----|----|
| 組織名称 | 現代英語学科 | 担当者 | 岩佐 |
|------|--------|-----|----|

1. 調査結果の概要

● 授業アンケートの結果から、シラバス活用に関する項目1つを除き、本学科の全体平均は全て本学の全体平均を上回っていることが明らかとなった。特に、コロナ禍により講義形式が制限されていた昨年2期の諸事情を勘案すれば、学生の授業に対する満足度の高さは本学科教職員一同の協働の結果であり、高く評価できるであろう。また、唯一全体平均を下回ったシラバス活用の項目についても、教員からのコメントにも「シラバスの点が低いですがムードルで、また zoom で毎回コース全体の流れの中のレッスンの位置を説明しています。この項目はあまり重要でないかもしれません。」とあるように、さほど大きなマイナス要素ではないと判断する。

よって、全体的評価としては、満足に行く評価であったと考えられる。

2. 項目ごとの分析結果

● A-① この授業は全体として満足であった

この項目の評価が最も高かったのは、[外・共・教]専門ゼミナール、[現]セミナープログラムに属する現代英語総合演習Ⅳ / 専門書講読Ⅱ / 卒業研究Ⅱ（受講者数 356 名、回答数 159 名、回収率 45%）といった授業である。その平均値は 4.7 で、全体平均の 4.2 を大きく上回っている。また、同科目の B-①「この授業には、休まず出席していた。」(学科平均値 4.7, 全体平均値 4.7)、B-②「この授業には、真剣な態度で受講した。」(学科平均値 4.7, 全体平均値 4.5) といった項目も総じて高い平均値を示していることから、学生の学習態度も真剣なものだったことが窺える。

しかしながら、B-4 や B-5 といった予習復習や教科書の活用に関する項目は共に 4.3 と、依然全体平均値と同等、或いは高い値を示してはいるものの、若干その平均値を下げている。よって、学生の自学自習を如何に促していくかが今後の課題である。ただし、自学自習時間に関しては、学生に課されている課題の多さとも相関関係があるように思われる。日々課題提出に追われる中で、なかなか本来の自学自習に時間が割けられない学生も少なくないのではないだろうか。この点において、教員側は課題の質と量について再考の必要があるかもしれない。

英語基幹プログラム PUT もまた同項目で高い満足度を示している。(受講者数 113 名、回答数 88 名、回収率 78%) A-① : 学科平均値 4.6, 全体平均値 4.2; B-① : 学科平均値 4., 全体平均値 4.7; B-② : 学科平均値 4.7, 全体平均値 4.5

● 項目 C について

主に授業に関する内容を問う項目 C のアンケート結果については、上述の[外・共・教]専門ゼミナール、[現]セミナープログラムがやはり高い平均値を叩き出している。特に、C-①-1「授業の進み具合は適切であった。」(学科平均値 4.5, 全体平均値 4.3)

C-②「教員は分かり易く説明していた。」(学科平均値 4.6, 全体平均値 4.2)

C-④「教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。」(学科平均値 4.8, 全体平均値 4.5)

C-⑥「学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。」(学科平均値 4.7, 全体平均値 4.2)

といった項目では、軒並み極めて高い値を叩き出している。これは教員の講義への熱意と、それに裏付けされた講義への取り組み、様々な ICT フォーマットの活用や創意工夫によるものと推察する。

項目 A に引き続き、本項目においても**英語基幹プログラム PUT** は高い満足度を示している。(受講者数 113 名、回答数 88 名、回収率 78%)

C-①-1: 学科平均値 4.7, 全体平均値 4.2

C-②: 学科平均値 4.6, 全体平均値 4.2

C-④: 学科平均値 4.7, 全体平均値 4.5

C-⑥: 学科平均値 4.7, 全体平均値 4.2

これらデータが示しているように、PUT 担当教員の熱心な指導によって、学生は本授業に対して大いに興味を抱き、その結果、語学力が向上したと実感していることが読み取れる。以下のデータ参照。

D-②「この授業に大変興味を持てた。」学科平均値 4.6, 全体平均値 4.1

D-3「この授業を履修して、目標とされている外国語の能力(話す能力、書く能力、聴く能力、読む能力のいずれか、或いはその組合せ)を伸ばすことができた。」学科平均値 4.5, 全体平均値 4.1

3. 今後の授業改善に向けて

本学科で、A-①「この授業は、全体として満足であった」が、唯一平均を下回っていたのが[現]専門基礎科目である。これに該当するのは「ことばのしくみ II」である。(受講者数 339 名、回答数 159 名、回収率 47%)

出席に関しては非常に高い平均値(学科平均値 4.9, 全体平均値 4.7)を示しており、B-②「この授業には、真剣な態度で受講した。」についても学科平均値は 4.5 と、全体平均値と同様の高い数値を示している。

しかしながら、B-4 は全体平均値を下回り、予習・復習があまりなされていないことがわかる。これに加え、C-①-1、C-②、C-④、及び C-⑥といった、授業の進み具合や教員の説明、教員の熱意や、学生の授業参加を積極的に促すような工夫があったか、といった項目での平均値がいずれも全体平均値を下回っていた。その結果、D-②「この授業に大変興味を持てた。」についても、全体平均値 4.1 に対し、学科平均値が 3.6 に留まっている。これは、おそらく受講者数が 339 名と多数であったことがその一員と考えられる。この規模のクラスで、学生の授業への参加を促すことは極めて困難である。また、この学期で「ことばのしくみ II」が取り扱った内容は、認知言語学であり、一般言語学の堅固な知識がなければ理解が容易ではないということも、学生の満足度に大きな影響を与えたと推測する。しかし、認知言語学はより深く言語現象を理解する上で大いに役立つことから、言語のエキスパートを目指す本学科の学生にとっては、是非とも学んでおいてもらいたい学問分野の一つである。よって、まずは言語学の基礎を先に習得した者が履修可とするなどの対応を取れば、数値に変化が見られるものと考えられる。

授業アンケートの結果に鑑み、本学科の授業は総じて満足度が高いことがわかった。これは、「できる限り学生一人ひとりに寄り添った教育を行っていこう」という本学科教員の総意と努力によるところが大きいと自負するものである。今後も引き続き、学生のレベルや理解度を細やかに推し量りながら、限りなくオーダーメイドに近いカリキュラムで、学生の能力向上に学科教員一同貢献していきたい。

2020年度2期授業改善のためのアンケート調査－学科分析結果

| | | | |
|------|--------|-----|------|
| 組織名称 | 国際教養学科 | 担当者 | 根無一信 |
|------|--------|-----|------|

1. 調査結果の概要

調査結果を見ると、国際教養学科の学生の多くは授業を高く評価しており、全学的な評価と同じような傾向を示しているといえる。特筆すべきは出席に関してである。全ての系列において全学の平均以上の数値を示しており、国際教養学科の学生の勤勉さを証立しているといえるだろう。大変好ましい結果であると判断することができる。

2. 項目ごとの分析結果

「専門基礎科目」への満足度がやや低く、全学平均では4.2であるが、国際教養学科では3.4であった。項目「教員はわかりやすく説明していた」と項目「授業のレベルは、自分にとって適切であった」において「あまりそうは思わない」と「そうは思わない」と答えた学生が3割おり、少なくとも学生の能力の現状に対して一定のズレが生じていることがわかるが、これは学生に対して初年次から本格的な学問に向き合わせようという教員の熱意の現れであるといえることができるだろう。上で述べたように、勤勉さを特徴とする国際教養学科の学生においては、2年次以降に「専門基礎科目」が生きてくると思われる。というのも、「国際教養学科目群」においては回答数の9割が2～4回生であるが、例えば項目「この授業は、全体として満足であった」「教員はわかりやすく説明していた」「授業のレベルは、自分にとって適切であった」に関して、平均を全て上回っているからである。この点は特筆大書すべきであろう。

3. 今後の授業改善に向けて

今回の調査では専門基礎科目の評価が低いことが明らかになった。教員の熱意と学生の能力の差にその原因を求めたが、現状で善しとはせず、少なくとも何らかの改善の余地があるはずであると考えることが重要であろう。項目「学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた」において「あまりそうは思わない」「そうは思わない」が一定数いることから、このあたりに改善の手掛かりがあると考えられそうである。

2020年度2期授業改善のためのアンケート調査－学科分析結果

| | | | |
|------|--------|-----|------|
| 組織名称 | 世界共生学科 | 担当者 | 宮川公平 |
|------|--------|-----|------|

1. 調査結果の概要

世界共生学科全体の質問回答集計表から、どの質問項目についても、大半の学生が「とてもそう思う」もしくは「ややそう思う」を選択している。全学の平均と比較した場合にも、平均値について特に大きな差異はないといえる。B-③「この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した」という項目については、「普通」と回答した人の割合が高いことから、シラバスの活用の仕方が学生および教員の間で共有されていないということがうかがえる。

2. 項目ごとの分析結果

① 英語基幹プログラム

どの質問項目についてもほとんどの学生が「とてもそう思う」もしくは「ややそう思う」を選択している。C-②「教員はわかりやすく説明していた」、C-③「授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた」、C-④「教員は授業に熱意をもって取り組んでいた」については「とてもそう思う」を選択した学生が多いことから、教員の指導に対する学生の評価が非常に高いといえる。

② PUT

A-①「この授業は、全体として満足であった」、B-①「この授業には、休まずに出席していた」、B-②「この授業には、真剣な態度で受講した」、B-⑥「この授業により、次の取り組みのいずれか1つ以上について積極的に行うようになった」といった項目では、「とてもそう思う」もしくは「ややそう思う」の選択数が多いことから、学生が授業の内容に興味を持ち、真剣に授業に取り組んだことがうかがえる。また、教員の説明、授業の開始・終了時間、教員の授業への熱意、私語への適切な処置、学生の授業への積極的参加など、授業内容および教員の努力に対する学生の評価が全体の平均値と比べても非常に高いといえる。

③ 専攻言語プログラム

B-④「この授業に関して予習、復習などを積極的に行った」という項目では、全学平均と比較しても高い数値である。B-⑥「この授業により、次の取り組みのいずれか1つ以上について積極的に行うようになった」といった項目では、「とてもそう思う」もしくは「ややそう思う」の選択数が多いことから、学生が授業の内容に興味を持ち、真剣に授業に取り組んだことがうかがえる。教員の説明、授業の開始・終了時間、教員の授業への熱意、私語への適切な処置、学生の授業への積極的参加など、授業内容および教員の努力に対する学生の評価は、全学平均と比較すると高いことがうかがえる。

④ アカデミックスキルズプログラム

D-①「授業のレベルは、自分にとって適切であった」という項目については、「普通」、「あまりそう思

わない」、「そうは思わない」を選択した学生が一定数存在する。「あまりそう思わない」、「そうは思わない」を選択した学生たちの内訳を見てみるとレベルが「高すぎる」「少し高い」となっていたことから、授業内容が少々難しかったことがうかがえる。その反面、B-①「この授業には、休まずに出席していた」、B-②「この授業には、真剣な態度で受講した」、B-④「この授業に関して予習、復習などを積極的に行った」といった項目から、学生がこの授業を重要だと考え、授業の予習・復習に取り組んだと解釈することができる。他方で、C-④「教員は授業に熱意をもって取り組んでいた」については「とてもそう思う」を選択した学生が多いことから、教員の指導についての学生の評価が比較的高いこともうかがえる。

⑤リージョナルスタディーズ

A-①「この授業は、全体として満足であった」、C-②「教員はわかりやすく説明していた」、C-③「授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた」、「教員は授業に熱意を持って取り組んでいた」、「学生が授業に参加できるように配慮されていた」といった項目についても、学科平均は全体平均値よりも高く、授業内容及び教員の努力に対する学生の評価が高いことが伺える。また、D-②「この授業に大変興味を持てた」においても全体平均値よりも高い評価が得られている。本学科のリージョナルスタディーズは、コース科目と並ぶ重要な位置づけとなっているが、この点を見る限り、学生たちの関心がきちんと向くような授業となっているとの評価が得られているとみなすこともできるだろう。

⑥コース科目／グローバルメディア科目

A-①「この授業は、全体として満足であった」、B-②「この授業には、真剣な態度で受講した」B-④「この授業に関して予習、復習などを積極的に行った」、といった項目について学科平均が全体平均値よりも低いことが明らかである。また、C-②「教員はわかりやすく説明していた」、C-③「授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた」、「学生が授業に参加できるように配慮されていた」といった項目についても、学科平均は全体平均値よりも低い。本学科のこの科目群の授業は講義形式の授業がほとんどで、授業内容の専門性も高いために「難しい」という感想を持ちやすいことが、このような評価の理由であることが考えられる。B-4「予習・復習などを積極的に行った」について全体平均よりも大きく下がっていることを踏まえると、改善点としては、教員から予習・復習などの内容を充実させ、課題に対するフィードバックやディスカッションの機会を増やし、学生が授業の中で積極的に発言できる仕組みを作ることが挙げられる。

3. 今後の授業改善に向けて

特にコース科目／グローバルメディア科目について、この科目群の授業のほとんどが講義形式で行われているものの、今後は学生が予習復習を通して、積極的に授業に関心を持てる工夫をするとともに、授業内でも学生が参加できるような仕組みを取り入れていくことも必要と考えられる。

2020年度2期授業改善のためのアンケート調査－学科分析結果

| | | | |
|------|------|-----|-------|
| 組織名称 | GLED | 担当者 | 古村由美子 |
|------|------|-----|-------|

対象：外国語学部、現代国際学部、世界共生学部 CE、LC、TTI

1. 調査結果の概要

全体平均より低かった項目は3項目、C-④、C-⑤、D-②であり、高かった2項目はB-4とB-5であった。これらを除く9項目で、全体平均と同値であった。3学部全体を通しての総合的な評価としては良好と言える。学科別、科目別の結果については後述する。

2. 項目ごとの分析結果

C-④は全体平均が4.5に対して、4.4であり、0.1%低いとはいえ、平均値自体は良い結果を示している。またC-⑤は全体平均が4.2に対して4.1であり、C-④と同様に0.1%低い結果としては悪くない評価であると考えられる。

全体平均より高かった項目は、B-4 (4.2 > 3.9:全体平均) とB-5 (4.4 > 4.1:全体平均) の2項目であり、どちらの項目も全体平均より0.3%高い評価となった。これらは「予習・復習を積極的に行った」、「教科書・参考書を活用した」という項目であり、学生の積極的な学習態度を示している。

3. 今後の授業改善に向けて

C-①-2は、C-①-1「授業の進み具合は適切であった」の間に対して、「そうは思わない」「あまりそう思わない」と回答した理由であり、「早すぎる」(12名)、「少し早い」(42名)、「少し遅い」(12名)、「遅すぎる」(3名)という結果を示している。本集計は3学部全体の回答(1,946名)から出てきた数字であるため、それほど大きな数字ではないかもしれないが、今後進度に関しては、学生の学習の状況を見ながら教員が調整することが必要かと思われる。

対象：英米語学科 CELP (除 PUT)

1. 調査結果の概要

全体平均より低かった項目は4項目、B-①、C-②、C-④、C-⑤あり、一方、全体平均より高かった項目は3項目、B-4、B-5、C-③であった。それ以外の項目は、全体平均と同値であった。

2. 項目ごとの分析結果

全体平均より低かった項目は4項目、B-① (4.6 < 4.7:全体平均)、C-② (4.1 < 4.2:全体平均)、C-④ (4.3 < 4.5:全体平均)、C-⑤ (4.0 < 4.2:全体平均) であった。いずれも0.1%又は0.2%低い結果となったが、平均値そのものはどれも4.0以上あるため、ある程度の評価を得たと考えられる。

一方、全体平均より高かった項目は3項目、B-4 (4.2 > 4.0:全体平均)、B-5 (4.5 > 4.3:全体平均)、C-③ (4.6 > 4.5:全体平均) であった。項目内容は、「予習・復習を積極的に行った」、「教科書、参考

書を十分に活用した」、「授業の開始・終了時間はきちんと守られていた」であった。前者2項目の高い数値から、学習者の学習意欲が高かったことが窺える。

3. 今後の授業改善に向けて

2. で全体平均より低かった4項目の内容は、「休まず出席した」、「教員はわかりやすく説明していた」、「教員は授業に熱意を持って取り組んでいた」、「授業中の私語には適切な処置がとられている」であった。これらの項目の平均点はどれも4.0以上であるため、大きな問題があるとは感じられないが、今後も「学生にわかりやすく説明する」ことについて留意した方がよいと思われる。

対象：英米語学科 PUT

1. 調査結果の概要

B-③のみ、全体平均より0.1低く、B-①とC-④のみ全体平均と同じであったが、それ以外の12項目で全体平均を上回る高い評価を得ている。例えば、B-②は、4.8という高得点であり、十分に評価されたと言える。

2. 項目ごとの分析結果

全体平均よりも0.3%以上高かった項目は、A-①(+0.3)、B-②(+0.3)、B-4(+0.5)、B-6(+0.4)、C-①-1(+0.3)、C-⑥(+0.4)、D-②(+0.4)、D-3(+0.3)であった。具体的には、「全体的な満足度が高い」、「受講態度が真剣」、「予習・復習を積極的に行った」、「4スキルの内いずれか1つ以上について積極的に実践した」、「授業進度が適切」、「学生の積極的授業参加への配慮」、「授業への高い興味」、「4スキルの内いずれか1つ以上の能力を伸ばせた」という観点で高い評価を得たことは、担当教員の取り組み方が評価されたことを表していると考えられる。

3. 今後の授業改善に向けて

今期同様の取り組みが、今後も望まれる。

対象：フランス語学科 CELP (除 PUT)

1. 調査結果の概要

B-④のみ、全体平均より0.1高く、B-5とC-⑥の2項目は全体平均と同値であったが、それ以外の11項目で全体平均を下回る評価を得た。例えば、B-③は3.1で、全体平均3.5より0.4低かったが、これはシラバス活用についてであり、授業方法には直接的には関連していない。

2. 項目ごとの分析結果

全体平均よりも高かった項目は、B-4(+0.1)であり、学生が予習・復習を頑張ったことを示している。一方、全体平均よりも0.3%以上低かった項目は、B-①(-0.3)、B-③(-0.4)、C-①-1(-0.3)、D-①-1(-0.3)であった。具体的内容は、「休まず出席した」、「シラバス参照」、「授業の進捗」、「授業レベル」についてであった。

3. 今後の授業改善に向けて

授業の進度について留意することにより、学生の学習意欲を高め、結果的に出席率向上に効果を上げることができると考えられるが、今期はオンライン授業であったため、授業進度の調整は難しかったのではないだろうか。今後対面授業に戻れば、この点は改善されるであろう。

対象：フランス語学科 PLP（英語）

1. 調査結果の概要

全体平均を上回った項目は3項目でB-4、B-5、C-⑤であり、5項目において全体平均と同値であった。下回った項目は9項目、A-①、B-①、B-②、B-③、C-①-1、C-⑥、D-①-1、D-②、D-4であったが、微小な値であるため、ほぼ全体平均と同じだと考えられる。

2. 項目ごとの分析結果

全体平均を上回った項目は、B-4 (+0.1)、B-5 (+0.1)、C-⑤ (+0.2) の3項目であった。下回った項目は、A-① (-0.2)、B-③ (-0.2) を含むが、その他の7項目は0.1下回っただけなので、問題はないと思われる。A-①は全体的な満足度、B-③はシラバス活用についてである。

3. 今後の授業改善に向けて

D-①-2は授業レベルについての具体的な回答であるが、「高すぎる(2名)」、「少し高い(8名)」という結果がでているため、少数ではあるが、これらの学生が理解しやすいように説明に工夫をすると、より効果的な授業になると思われる。

対象：中国語学科 CELP（除 PUT）

1. 調査結果の概要

全体平均を上回っている項目は3項目、A-①、B-4、D-②で、「全体的に満足」の項目が4.3で全体平均より+0.1、「授業に興味」の項目が4.2で全体平均より+0.1であった。それ以外の11項目は全体平均を下回っていたが、前者2つの項目は授業評価では重要な項目であり、この2項目でよい結果だったことは評価できる。大きな問題はないと考える。

2. 項目ごとの分析結果

B-4は4.3で全体平均4.0より0.3高く、項目内容は「予習、復習を積極的に行った」である。一方、B-5は4.0で全体平均4.3より0.3下回り、項目内容は「教科書、参考書等の活用」についてである。この2項目はどちらも学生の自学習に関連する内容で、「予習復習を行ったが、その際必ずしも教科書や参考書を活用しなかった」学生がいたということであろうか。

C-③は4.1で、全体平均4.5を0.4下回っており、項目内容は「開始時間・終了時間の厳守」に関するものであった。他の10項目では、0.1下回っているだけなので、問題はないと考える

3. 今後の授業改善に向けて

C-③の「開始時間・終了時間の厳守」については、少し気をつけるようにした方がよいと思われる。

対象：中国語学科 PLP（英語）

1. 調査結果の概要

全体平均を上回った項目は4項目、C-①-1、C-②、C-③、C-④であり、同値であった項目は6項目、下回った項目は7項目であった。

2. 項目ごとの分析結果

C-②「教員はわかりやすく説明していた」の項目は、4.5で全体平均4.2を0.3上回っている点は、高く評価できる。また、C-①-1「授業の進度」に関する項目でも4.4であり全体平均より0.1高いことから、教員の授業方法は適切であると感じる。

B-②「真剣な態度で受講」が4.3で、全体平均よりも0.2低い数値ではあるが、数値そのものは悪くはないと考えられる。気になる点は、D-②「授業に大変興味を持てた」が3.9で全体平均より-0.2、さらにD-4「言語の文化への興味」が3.8で全体平均より-0.3であることである。

3. 今後の授業改善に向けて

教員の授業方法についての評価は高いが、上記のD-②とD-4の結果から、授業コンテンツに関して学生の興味が若干低いことが窺える。今後はコンテンツについて再考することも一案であろう。

対象：フランス語学科・中国語学科 PUT

1. 調査結果の概要

3つの項目B-①、B-③、D-①-1では、全体平均を下回ったが、それ以外は主要項目を含めて全体平均を上回る高い評価である。

2. 項目ごとの分析結果

全体平均を下回ったのは、B-①(4.5<4.6:全体平均)、B-③(3.0<3.5:全体平均)、D-①-1(4.0<4.1:全体平均)の3つのみである。全体平均よりも0.3以上高かった項目は、A-①、B-4、B-6、C-⑥、D-②、D-3であり、内容は「全体的に満足」、「予習・復習を積極的にした」、「4スキルの内1つ以上を積極的に実践」、「学生の積極的授業参加への配慮」、「大変興味」、「4スキルの内1つ以上の能力を伸ばせた」であり、学生の満足度が高いことが窺える。

3. 今後の授業改善に向けて

今期同様の取り組みが、今後も望まれる。

対象：国際日本学科 CELP（除 PUT）

1. 調査結果の概要

4つの項目B-①、C-④、C-⑥、D-②は全体平均と同値であり、それ以外のすべての項目で、全体平均を上回っている。学生から高い評価を得ていることがわかる。

2. 項目ごとの分析結果

全体平均より 0.3 以上高かった項目は、B-4 (4.5 > 4.0:全体平均)、B-5 (4.7 > 4.3:全体平均) であり、内容は「予習・復習を積極的に行った」「教科書・参考書を活用した」という項目であるため、学生が高い学習意欲を持ったことが示されている。

3. 今後の授業改善に向けて

今期同様の取り組みが、今後も望まれる。

対象：国際日本学科 PLP

1. 調査結果の概要

4 項目 (C-②、C-④、C-⑥、D-②) で全体平均を上回っており、6 項目 (A-①、B-5、C-①-1、C-③、C-⑤、D-①-1) では全体平均と同値であった。他の 7 項目では全体平均を下回っていたが、ほとんどが-0.1 か-0.2 であったため、大きな問題はないと考える。

2. 項目ごとの分析結果

全体平均を上回った 4 項目は、「教員のわかりやすい説明」、「教員の授業への熱意ある取り組み」、「学生の積極的授業参加への配慮」、「授業への興味」という主要な項目についてであった。

全体平均を下回った項目の中に、B-6 (4.0 < 4.2:全体平均) があり、「4 スキルの内 1 つ以上を積極的に行った」という内容であったが、数値そのものが低いとは言えないため問題はないと考える。

3. 今後の授業改善に向けて

C-①-2 の欄 (授業の進度) で「少し早い」(2 名)、「少し遅い」(1 名)、「遅すぎる」(1 名) となっていて若干名であるが進度の調整が必要かと思われる。また D-①-2 で示された授業レベルについては、「少し高い」(4 名)、「少し低い」(1 名)、「低すぎる」(1 名) という結果で、こちらも若干名であるがレベルの調整も必要と思われる。

総合的にみて良好な評価結果であるため、今期同様の取り組みが、今後も望まれる。

対象：国際日本学科 PUT

1. 調査結果の概要

全体平均より上回った項目は 10 項目であった。C-③、C-⑤の 2 項目は全体平均と同値であり、3 項目では下回った (B-①、C-④、D-①-1) が、その差は 0.1 か 0.2 であるため、総合的にみて評価が高いと言える。

2. 項目ごとの分析結果

全体平均より 0.3 以上高かった項目は、B-4 (4.6 > 4.0:全体平均)、B-6 (4.7 > 4.2:全体平均)、C-⑥ (4.5 > 4.2:全体平均) であった。項目の内容は、「予習・復習を積極的に行った」、「4 スキルの内 1 つ以上を積極的に実践」、「学生の積極的授業参加への配慮」であった。教員が学生の授業参加を効

果的に促した結果、学習意欲が増したことが窺える。

3. 今後の授業改善に向けて

授業レベルが少し高いと感じた学生が少数いた(D-①-2)ことを鑑み、学生の理解度を確認しながら学習を進めていくと、さらに学習効果が高まるであろう。

対象：日本語学科 PLP（英語）

1. 調査結果の概要

全体平均より上回った項目は2項目で、B-5、C-①-1であった。B-①、B-③、C-⑥の3項目は全体平均と同値であり、12項目では下回った。

2. 項目ごとの分析結果

B-5、C-①-1の2項目はそれぞれ全体平均よりそれぞれ0.2、0.1高く、「教科書・参考書の活用」、「授業の進度が適切」という内容項目であった。

B-②「真剣な態度で受講」が4.2で、全体平均よりも0.3低い数値ではあるが、数値そのものは悪くはないと考えられる。気になる点は、D-②「授業に大変興味を持てた」が3.8で全体平均より-0.3、さらにD-4「言語の文化への興味」が3.8で全体平均より-0.3であることである。

3. 今後の授業改善に向けて

授業進度についての評価は高いが、上記のD-②とD-4の結果から、授業コンテンツに関して学生の興味が若干低いことが窺える。今後はコンテンツについて再考することも一案であろう。それにより、B-②「真剣な態度で受講」の数値も高まると予想される。

対象：世界教養学科 CELP（除 PUT）

1. 調査結果の概要

3項目（B-③、B-4、B-5）で全体平均を上回っており、4項目（C-②、C-③、C-⑤、C-⑥）では全体平均と同値であった。他の7項目では全体平均を下回っていたが、ほとんどが-0.1であったため、大きな問題はないと考える。

2. 項目ごとの分析結果

全体平均を上回っている3項目（B-③、B-4、B-5）は、「シラバスの活用」、「予習・復習を積極的に行った」、「教科書・参考書を活用した」という内容であり、学生の学習意欲が高いことを示している。

気になる点は、C-①-2で示された授業進度に関する評価である。「早すぎる」（5名）、「少し早い」（7名）となっている。またD-①-2で示された授業レベルについては、「少し高い」（6名）、「少し低い」（4名）、「低すぎる」（3名）という結果であるが、この結果は学生の英語力の差が大きいことを示していると考えられる。

3. 今後の授業改善に向けて

具体的にどの科目の授業進度が早すぎるのか、またどの授業レベルが少し高く、または低すぎるのか、については、この結果から読み取ることができない。しかしながら、教員は、学生の理解の度合いをくみ取りながら授業進度を調整し、レベルが高いと感じられている授業であれば、理解を深めるような説明がより必要とされるであろう。

対象：世界教養学科 PUT

1. 調査結果の概要

3項目（B-①、B-③、D-①-1）では全体平均を下回っており、1項目（C-④）は同値であった。他の11項目では全体平均を上回っていた。総合的にみて評価が高いと言える。

2. 項目ごとの分析結果

全体平均を0.3以上上回っていた項目は、B-4（4.5 > 4.0:全体平均）、B-6（4.5 > 4.2:全体平均）、C-⑥（4.6 > 4.2:全体平均）であり、内容はそれぞれ「予習・復習を積極的に行った」、「4スキルの内1つ以上を積極的に行った」、「学生の積極的授業参加への配慮」であった。教員が学生の授業参加を促したことにより、学生の積極的な学習が進んだと解釈できる。

全体平均を下回った3項目は、B-①（4.5 < 4.7:全体平均）、B-③（3.3 < 3.5:全体平均）、D-①-1（3.9 < 4.1:全体平均）であり、内容はそれぞれ「休まず出席」、「シラバス活用」、「授業レベル」に関するものであった。

3. 今後の授業改善に向けて

評価の結果からは、特に問題はないと考えるが、D-①-2の欄（授業レベル）で、「高すぎる」(1名)、「少し高い」(2名)、「低すぎる」(2名)となっているため、教員は学生の理解の度合いをくみ取りながら授業進度を調整することによって、さらにより結果が期待できる。

2020年度2期授業改善のためのアンケート調査—学科分析結果

| | | | |
|------|-----|-----|------|
| 組織名称 | 大学院 | 担当者 | 林 良児 |
|------|-----|-----|------|

1.調査結果の概要

本学における教育・研究活動の改善・向上のためにFD委員会内規が定められたのは2001年2月のことである。この内規は2004年、2007年、2008年、2016年、2017年、2019年に改正されて今日にいたる。委員会は学長をはじめとする十二の組織の長等によって構成され、大学院からは研究科長及び授業担当者1名の計2名が委員として加わっている。委員会は五つの事項を審議する役割を担っているが、その一つが、FDの要ともいえるべき「授業・研究指導の内容・方法の改善のための研修・研究に関すること」である。その具体策が、授業改善のためのアンケート調査であり、大学院では2007年から実施されてきた。調査の対象は、正規生、研究生、科目等履修生及び特別聴講生を含めて4名以上の履修者がいる科目とし、集中講義科目と、英語教授法(TESOL)コースの英語教員ワークショップと重なる科目は対象外である。回答項目は、これまでと同様、マーク式回答項目と教員独自の設問による記述式回答項目に分かれる。マーク式回答項目では、5(とてもそう思う)、4(ややそう思う)、3(普通)、2(あまりそう思わない)、1(そうは思わない)の5段階評価を求めている。

2.項目ごとの分析結果

2020年度2期に調査対象となったのは、「言語文化研究」1科目、「日本語学研究」2科目、「日本語教育法研究」2科目、「ワールドヒューマニティズ研究」1科目、「英語教育法研究」3科目の計9科目である。受講者は35名で、回答数は25、回収率は71%だった。

アンケート調査(マーク回答事項)の質問事項と全体の平均値は下記のとおりである。

- ① 授業に対する満足度(この授業は、全体として満足であった)4.8
- ② 学生の自己評価
 - ・授業への出席(この授業には、休まず出席していた)4.8
 - ・授業への受講態度(この授業には、真剣な態度で受講した)4.7
 - ・シラバスの活用(この授業の登録前または履修中にシラバスを活用した) ...4.3
- ③ 授業に対する評価
 - ・進み具合(授業の進み具合は適切であった)4.8
 - ・説明(教員はわかりやすく説明していた)4.9
 - ・時間厳守(授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた)5.0
 - ・熱意(教員は授業に熱意を持って取り組んでいた)5.0
 - ・私語の処置(授業中の私語には適切な処置がとられていた)4.8
 - ・学生の参加(学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた)4.8
 - ・レベル(授業のレベルは自分にとって適切であった)4.6
 - ・興味(この授業に大変興味を持てた)4.6

上記のとおり、今回も大学院科目の平均値はすべての項目において大学全体の平均を上回り、かなり高い結果となった。「授業の満足度」の4.8は、授業計画が全体としておおむね適切ではあることを示唆している。しかし、「教員は授業に熱意を持って取り組んでいた」の5.0や、「教員はわかりやすく説明していた」の4.9や、「授業の進み具合は適切であった」

の 4.8 に比べて、「この授業に大変興味を持てた」の 4.6 や、「授業のレベルは自分にとって適切であった」の 4.6 は、教員と受講者の双方の意思疎通が必ずしも十分ではなかったことを示しているとも言える。その一因はコロナ禍のなかで展開した授業形態にあると思われるが、よりよい授業のための改善の余地がまだ残されているのもたしかである。

3. 今後の授業改善に向けて

2020 年度に大学院は大きな改組があり、博士課程前期は〈英語・英語教育〉、〈日本語・日本語教育〉、〈グローバルコミュニケーション〉の「3コース制」、博士課程後期は〈英語学・英語教育学〉、〈日本語学・日本語教育学〉、〈グローバルコミュニケーション〉の「3分野制」となった。2016 年度から施行された学部修士 5 年プログラムや、この新制度による修了者が外部からどのような評価を受けるのかを慎重に見定めながら、受講者の期待に応えるためのカリキュラム微修正の努力を怠りなく重ねて参りたい。

2020年度2期授業改善のためのアンケート調査－学科分析結果

| | | | |
|------|---|-----|------------------------------|
| 組織名称 | 国際日本語教育インスティテュート (日本語科目とジャパンスタディーズ科目)) | 担当者 | 櫻井省吾 村上かおり Philip Rush |
|------|---|-----|------------------------------|

1. 調査結果の概要

● 日本語科目

2020年度2期はコロナ禍のため、交換留学生は来日することができず、本国際日本語教育インスティテュート(IJLE)では13名のみが母国からオンラインで日本語の授業を受けることとなった。必修科目を5クラス開講したが、今回のアンケートに該当する「履修登録者が4名以上のクラス」は1クラス(中級レベルの前半)のみとなり、このクラスに履修登録した4名のうちの2名の学生が回答した(有効回答率50%)。2名の学生の回答のみでは、IJLE全体のクラスと教員の評価について分析することはできないため、次節では彼らが履修したクラスと教員について、彼らの評価を述べる。

● ジャパンスタディーズ科目

新型コロナウイルスの感染拡大によって外国人留学生の来日が不可能となり、本プログラム(グローバル・ジャパン・プログラム)の実施が危ぶまれる学期であった。受講生が少人数であり(15人。そのうち1/3が本アンケート調査を未完成で提出)、このような少ないサンプル数の回答から意味のある示唆を得ることは難しい。集まった少数の回答を見る限りでは、オンライン授業であるがために生じた様々な問題にもかかわらず、全体的な満足度は高かったと言える。

2. 項目ごとの分析結果

(取り上げる項目は任意です)

● 日本語科目

2名の学生は14項目中、11項目に「とてもそう思う」を選び、11項目が平均5点となった。残りの3項目「この授業には、休まず出席していた」「この授業には、真剣な態度で受講した」「この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した」では、1名が「とてもそう思う」を選び、もう1名が「ややそう思う」を選んだため、平均4.5点となった。上記の3項目は、いずれも学生自身の態度に関する項目のため、IJLEのクラスと教員に対しては、とても満足していたことがわかる。

● ジャパンスタディーズ科目

上述したように、10人という限られたサンプル数の回答から得られる結論はわずかである。オンライン授業では問題が起こりがちであるが、自国から受講している外国人学生と日本で受講している日本人学生との混合クラスである点が問題をさらに複雑なものにしている。両者に適切な言語レベルを保ちつつ受講生全員の理解を確認することは、教員にとって大きな困難を伴うタスクであった。このような少人数のクラスでの授業開講を大学が認めてくださったことには心から感謝するものであるが、上記の問題が教育効果に影響を及ぼすのは不可避であった。

3. 今後の授業改善に向けて

- 日本語科目

今回の授業評価アンケートの分析は、2名の学生の評価のみが反映されたため、今後のIJLE全体の授業改善に役立つ部分は非常に少ない。ただ、2名の学生からは授業、教員に対して非常に高評価を得られたため、今後、他のクラスや教員も同様の結果が得られることを願う。

- ジャパンスタディーズ科目

ジャパンスタディーズ科目の担当の先生方には、このような困難な状況下で授業を実施して下さったことに深く感謝申し上げます。この科目群は主として外国人留学生が日本について学ぶために設計されたものであるため、受講生の大半がNUFSの日本人学生である場合には教授方法及び言語レベルの調整が必要となる。オンライン授業は全ての教員にとって授業内容や最も効果的な教授方法について考える機会となったが、この経験は対面授業に戻ることができた際の授業運営にも役立つことであろう。

授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|-----|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | 全授業 | | |

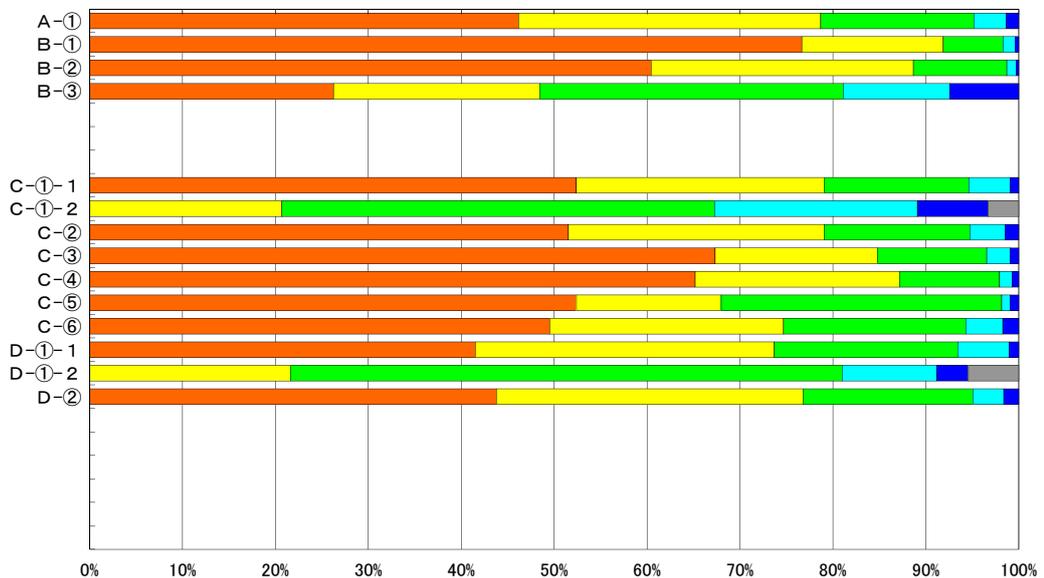
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|--------|--------|------|
| 20生 | 8,793 | --- | --- |
| 19生 | 6,903 | --- | --- |
| 18生 | 2,622 | --- | --- |
| 17生以前 | 1,395 | --- | --- |
| その他 | 44 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 19,757 | 39,833 | 50 % |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても 思う | 4 やや 思う | 3 普通 | 2 あまり 思わ ない | 1 そう 思わ ない | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------|---------------|-----------|----------------------|---------------------|----|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 9120 | 6426 | 3267 | 674 | 270 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 15143 | 3009 | 1276 | 262 | 67 | 0 | 4.7 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 11950 | 5566 | 1986 | 209 | 46 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 5184 | 4390 | 6455 | 2270 | 1458 | 0 | 3.5 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 10348 | 5279 | 3067 | 884 | 179 | 0 | 4.3 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 早すぎる | 3 少し早い | 2 少し遅い | 1 遅すぎる | 未答 | | |
| | | 220 | 495 | 232 | 81 | 35 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 10181 | 5435 | 3106 | 750 | 285 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 13300 | 3458 | 2318 | 503 | 178 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 12877 | 4345 | 2127 | 271 | 137 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 10351 | 3079 | 5965 | 180 | 182 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 9789 | 4966 | 3876 | 787 | 339 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 8207 | 6351 | 3910 | 1087 | 202 | 0 | 4.1 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 高すぎる | 3 少し高い | 2 少し低い | 1 低すぎる | 未答 | | |
| | | 279 | 765 | 131 | 44 | 70 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 8652 | 6516 | 3624 | 645 | 320 | 0 | 4.1 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とても思う(5) ■やや思う(4) ■普通(3) ■あまり思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|---------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | 全授業(学部) | | |

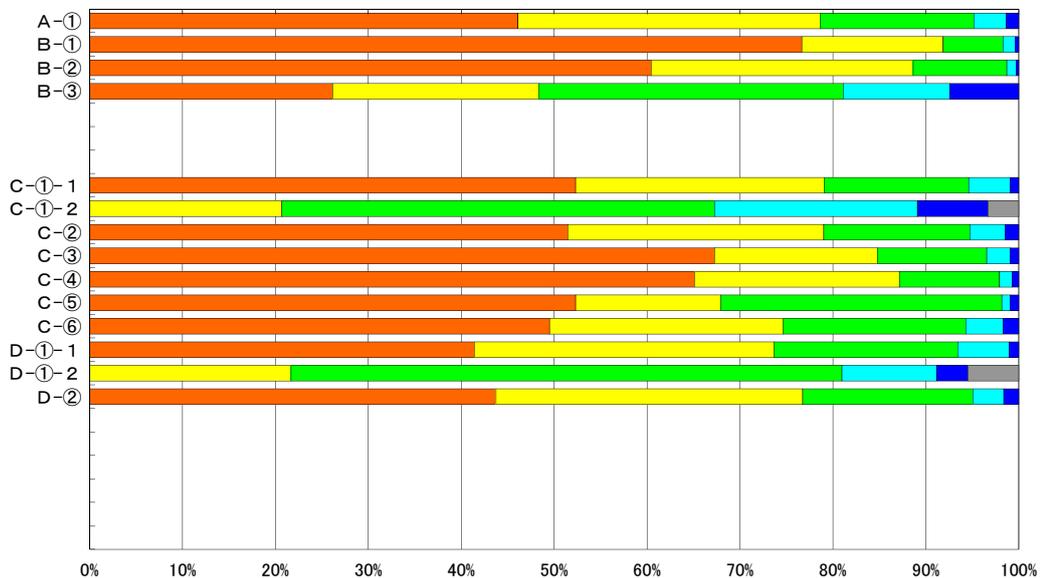
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|--------|--------|------|
| 20生 | 8,778 | --- | --- |
| 19生 | 6,903 | --- | --- |
| 18生 | 2,622 | --- | --- |
| 17生以前 | 1,387 | --- | --- |
| その他 | 25 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 19,715 | 39,703 | 50 % |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても 思う | 4 やや 思う | 3 普通 | 2 あまり 思わ ない | 1 そう 思わ ない | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------|---------------|-----------|----------------------|---------------------|----|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 9087 | 6419 | 3266 | 673 | 270 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 15112 | 2998 | 1276 | 262 | 67 | 0 | 4.7 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 11921 | 5553 | 1986 | 209 | 46 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 5163 | 4373 | 6452 | 2270 | 1457 | 0 | 3.5 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 10313 | 5273 | 3066 | 884 | 179 | 0 | 4.3 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 早すぎる | 3 少し早い | 2 少し遅い | 1 遅すぎる | 未答 | | |
| | | 220 | 495 | 232 | 81 | 35 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 10144 | 5431 | 3105 | 750 | 285 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 13261 | 3456 | 2317 | 503 | 178 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 12841 | 4340 | 2126 | 271 | 137 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 10314 | 3077 | 5963 | 180 | 181 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 9759 | 4958 | 3874 | 787 | 337 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 8173 | 6345 | 3910 | 1085 | 202 | 0 | 4.1 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 高すぎる | 3 少し高い | 2 少し低い | 1 低すぎる | 未答 | | |
| | | 279 | 763 | 131 | 44 | 70 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 8623 | 6506 | 3621 | 645 | 320 | 0 | 4.1 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とても思う(5) ■やや思う(4) ■普通(3) ■あまり思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|----------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | 全授業(大学院) | | |

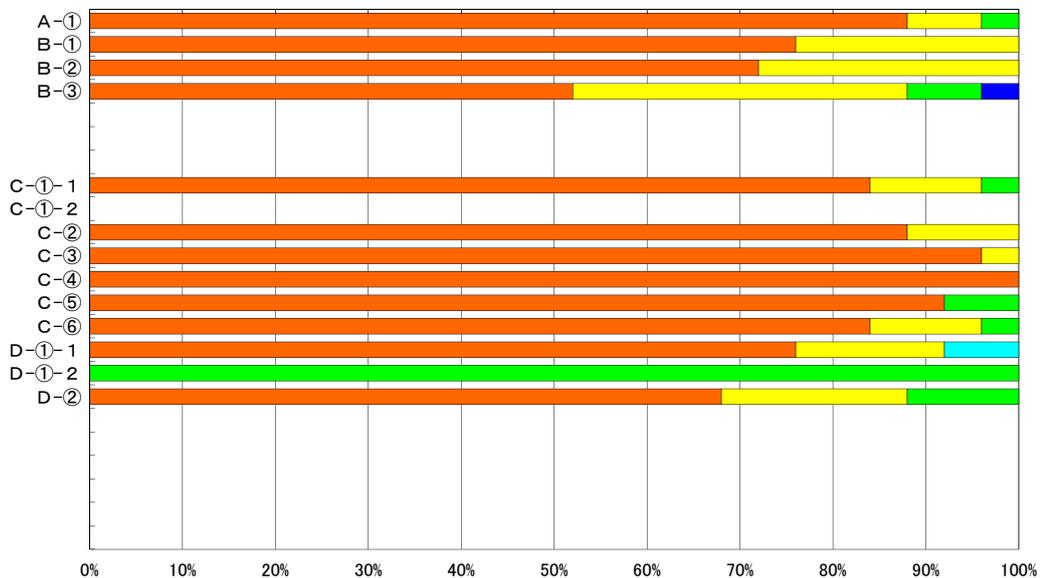
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-----|------|-----|
| 20生 | 6 | --- | --- |
| 19生 | 0 | --- | --- |
| 18生 | 0 | --- | --- |
| 17生以前 | 8 | --- | --- |
| その他 | 11 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 25 | 35 | 71% |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても 思う | 4 やや 思う | 3 普通 | 2 あまり 思わ ない | 1 そう 思わ ない | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------|---------------|-----------|----------------------|---------------------|----|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 22 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4.8 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 19 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4.8 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 18 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4.7 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 13 | 9 | 2 | 0 | 1 | 0 | 4.3 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 21 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4.8 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 早すぎる | 3 少し早い | 2 少し遅い | 1 遅すぎる | 未答 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 22 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4.9 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 24 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5.0 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 25 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5.0 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 23 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 4.8 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 21 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4.8 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 19 | 4 | 0 | 2 | 0 | 0 | 4.6 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 高すぎる | 3 少し高い | 2 少し低い | 1 低すぎる | 未答 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 17 | 5 | 3 | 0 | 0 | 0 | 4.6 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とても思う(5) ■やや思う(4) ■普通(3) ■あまりそう思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|-----------------------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | 全授業(日本語教育センター(留学生別科)) | | |

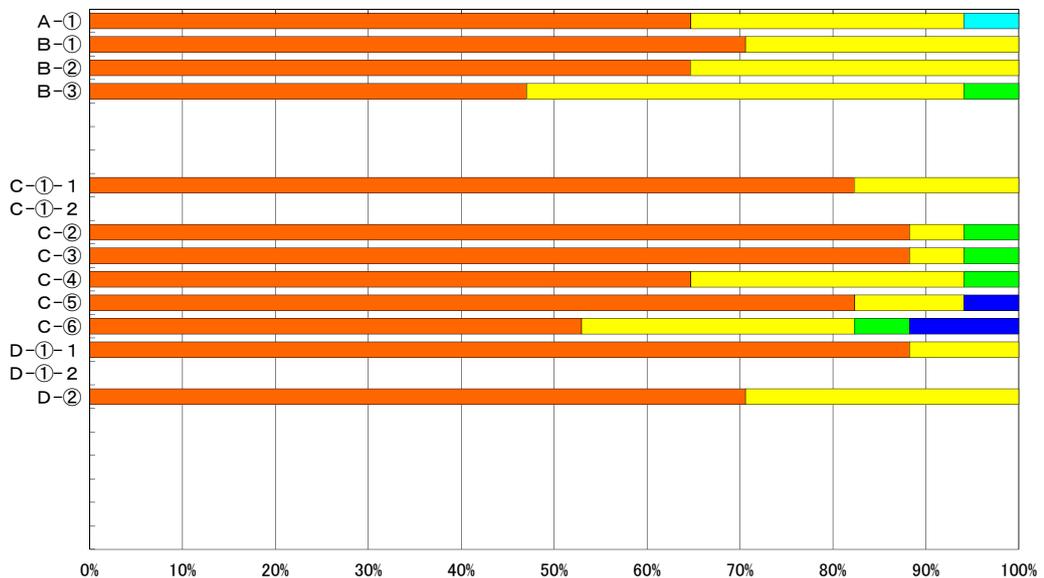
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-----|------|-----|
| 20生 | 9 | --- | --- |
| 19生 | 0 | --- | --- |
| 18生 | 0 | --- | --- |
| 17生以前 | 0 | --- | --- |
| その他 | 8 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 17 | 95 | 18% |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても そう 思う | 4 やや そう 思う | 3 普通 | 2 あまり そう 思わ ない | 1 そう は 思 わ な い | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------------|---------------------|-----------|----------------------------|----------------------------------|----|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 11 | 5 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4.5 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 12 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4.7 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 11 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4.6 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 8 | 8 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4.4 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 14 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4.8 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 早すぎる | 3 少し早い | 2 少し遅い | 1 遅すぎる | 未答 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 15 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4.8 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 15 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4.8 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 11 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4.6 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 14 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4.6 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 9 | 5 | 1 | 0 | 2 | 0 | 4.1 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 15 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4.9 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 高すぎる | 3 少し高い | 2 少し低い | 1 低すぎる | 未答 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 12 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4.7 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とてもそう思う(5) ■ややそう思う(4) ■普通(3) ■あまりそう思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|---------------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | (学部) 01 英米語学科 | | |

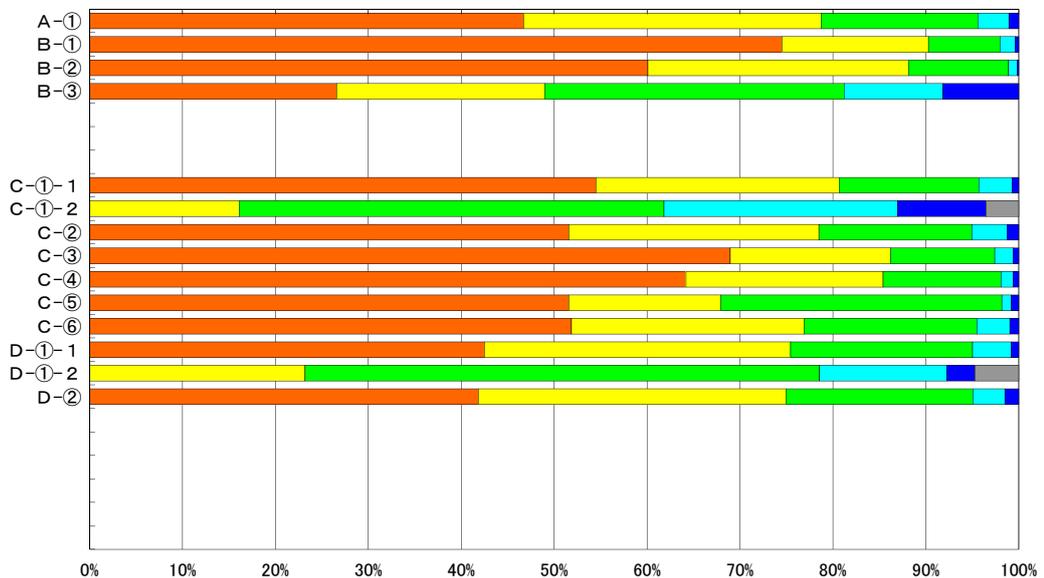
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-------|-------|------|
| 20生 | 2,157 | --- | --- |
| 19生 | 1,458 | --- | --- |
| 18生 | 616 | --- | --- |
| 17生以前 | 439 | --- | --- |
| その他 | 8 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 4,678 | 8,918 | 52 % |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても 思う | 4 やや 思う | 3 普通 | 2 あまり 思わ ない | 1 そう 思わ ない | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------|-----------------|------------------|----------------------|---------------------|----------|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 2,187 | 1,496 | 790 | 155 | 50 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 3,487 | 736 | 361 | 75 | 19 | 0 | 4.6 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 2,811 | 1,314 | 502 | 45 | 6 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 1,244 | 1,048 | 1,508 | 496 | 382 | 0 | 3.5 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 2,550 | 1,225 | 704 | 165 | 34 | 0 | 4.3 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 早すぎる 32 | 3 少し早い 91 | 2 少し遅い 50 | 1 遅すぎる 19 | 未答 7 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 2,412 | 1,260 | 769 | 181 | 56 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 3,225 | 808 | 524 | 93 | 28 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 3,003 | 992 | 594 | 62 | 27 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 2,413 | 765 | 1,415 | 46 | 39 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 2,426 | 1,171 | 870 | 166 | 45 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 1,988 | 1,541 | 916 | 194 | 39 | 0 | 4.1 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 高すぎる 54 | 3 少し高い 129 | 2 少し低い 32 | 1 低すぎる 7 | 未答 11 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 1,958 | 1,549 | 941 | 160 | 70 | 0 | 4.1 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とても思う(5) ■やや思う(4) ■普通(3) ■あまり思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|-----------------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | (学部) 02 フランス語学科 | | |

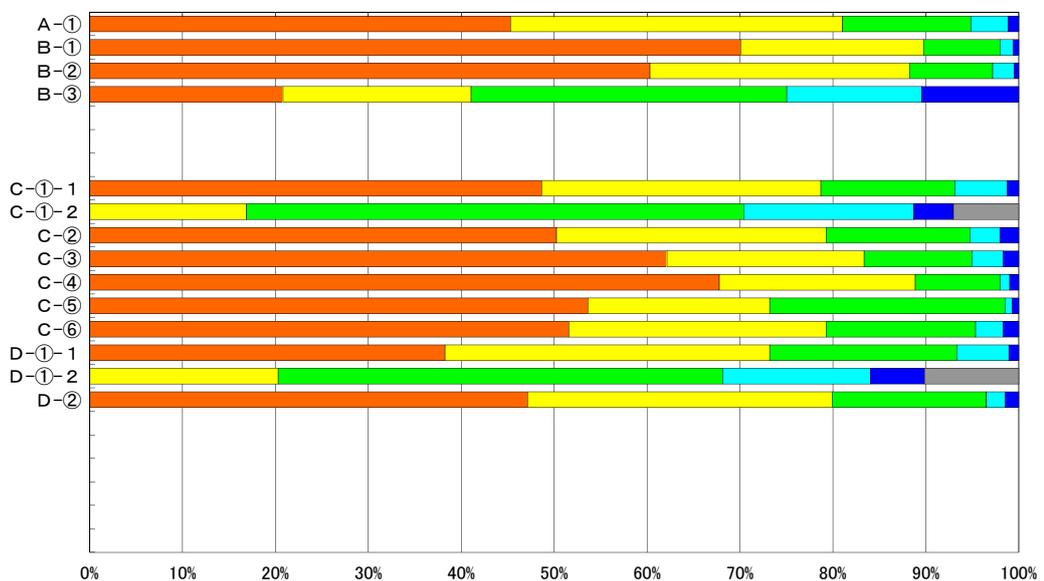
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-------|-------|------|
| 20生 | 345 | --- | --- |
| 19生 | 443 | --- | --- |
| 18生 | 117 | --- | --- |
| 17生以前 | 128 | --- | --- |
| その他 | 0 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 1,033 | 1,632 | 63 % |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても 思う | 4 やや 思う | 3 普通 | 2 あまり 思わ ない | 1 そう 思わ ない | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------|-----------------|-----------------|----------------------|---------------------|---------|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 468 | 369 | 143 | 41 | 12 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 724 | 203 | 85 | 15 | 6 | 0 | 4.6 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 623 | 289 | 92 | 24 | 5 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 215 | 209 | 351 | 150 | 108 | 0 | 3.3 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 503 | 310 | 149 | 58 | 13 | 0 | 4.2 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまり思わないの場合 | | 4 早すぎる 12 | 3 少し早い 38 | 2 少し遅い 13 | 1 遅すぎる 3 | 未答 5 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 519 | 300 | 160 | 33 | 21 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 642 | 219 | 120 | 35 | 17 | 0 | 4.4 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 700 | 218 | 94 | 11 | 10 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 554 | 202 | 262 | 8 | 7 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 533 | 286 | 166 | 31 | 17 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 395 | 361 | 208 | 58 | 11 | 0 | 4.0 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまり思わないの場合 | | 4 高すぎる 14 | 3 少し高い 33 | 2 少し低い 11 | 1 低すぎる 4 | 未答 7 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 487 | 339 | 171 | 21 | 15 | 0 | 4.2 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とても思う(5) ■やや思う(4) ■普通(3) ■あまり思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|---------------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | (学部) 03 中国語学科 | | |

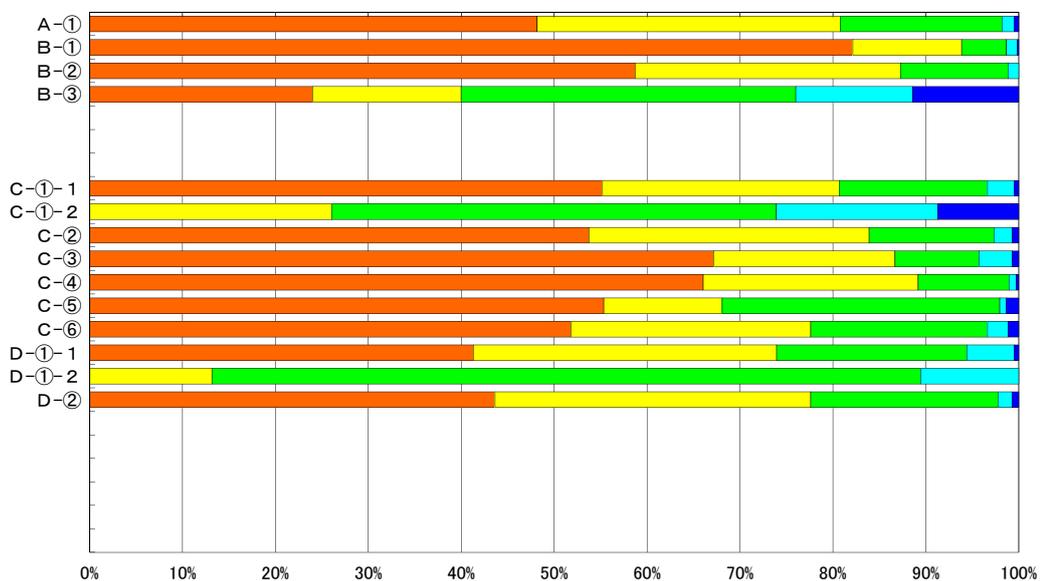
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-----|-------|------|
| 20生 | 248 | --- | --- |
| 19生 | 311 | --- | --- |
| 18生 | 62 | --- | --- |
| 17生以前 | 62 | --- | --- |
| その他 | 0 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 683 | 1,694 | 40 % |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても 思う | 4 やや 思う | 3 普通 | 2 あまり 思わ ない | 1 そう 思わ ない | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------|---------------|-----------|----------------------|---------------------|----|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 329 | 223 | 119 | 9 | 3 | 0 | 4.3 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 561 | 80 | 33 | 8 | 1 | 0 | 4.7 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 401 | 195 | 79 | 8 | 0 | 0 | 4.4 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 164 | 109 | 246 | 86 | 78 | 0 | 3.3 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 377 | 174 | 109 | 20 | 3 | 0 | 4.3 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまり思わないの場合 | | 4 早すぎる | 3 少し早い | 2 少し遅い | 1 遅すぎる | 未答 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 367 | 206 | 92 | 13 | 5 | 0 | 4.3 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 459 | 133 | 62 | 24 | 5 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 451 | 158 | 67 | 5 | 2 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 378 | 87 | 204 | 5 | 9 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 354 | 176 | 130 | 15 | 8 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 282 | 223 | 140 | 35 | 3 | 0 | 4.1 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまり思わないの場合 | | 4 高すぎる | 3 少し高い | 2 少し低い | 1 低すぎる | 未答 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 298 | 232 | 138 | 10 | 5 | 0 | 4.2 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とても思う(5) ■やや思う(4) ■普通(3) ■あまり思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|---------------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | (学部) 04 日本語学科 | | |

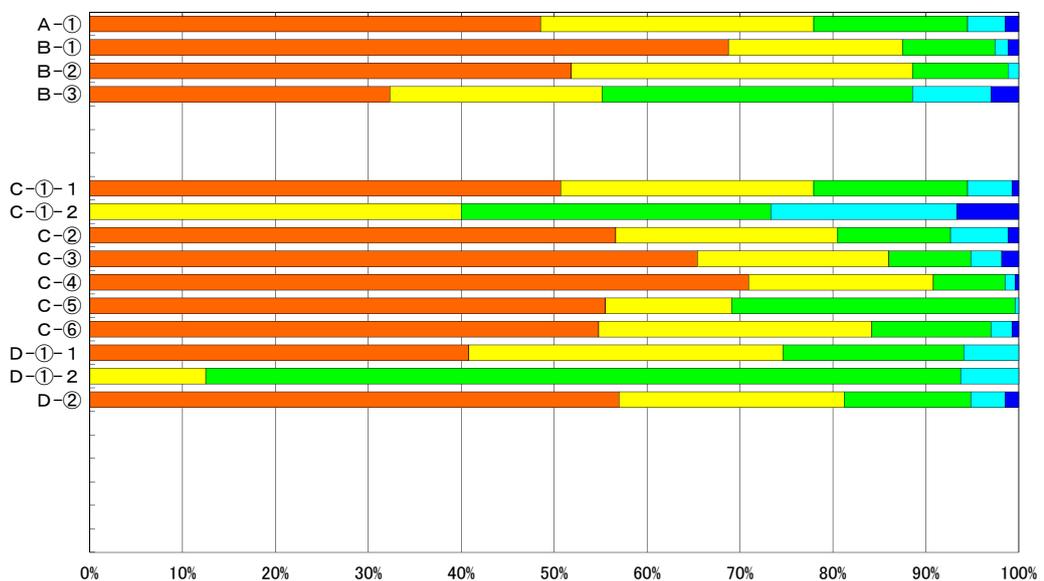
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-----|------|------|
| 20生 | 5 | --- | --- |
| 19生 | 16 | --- | --- |
| 18生 | 180 | --- | --- |
| 17生以前 | 70 | --- | --- |
| その他 | 1 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 272 | 546 | 50 % |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても そう 思う | 4 やや そう 思う | 3 普通 | 2 あまり そう 思わ ない | 1 そう は 思 わ な い | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------------|---------------------|-----------|----------------------------|----------------------------------|----|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 132 | 80 | 45 | 11 | 4 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 187 | 51 | 27 | 4 | 3 | 0 | 4.5 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 141 | 100 | 28 | 3 | 0 | 0 | 4.4 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 88 | 62 | 91 | 23 | 8 | 0 | 3.7 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 138 | 74 | 45 | 13 | 2 | 0 | 4.2 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 早すぎる | 3 少し早い | 2 少し遅い | 1 遅すぎる | 未答 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 154 | 65 | 33 | 17 | 3 | 0 | 4.3 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 178 | 56 | 24 | 9 | 5 | 0 | 4.4 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 193 | 54 | 21 | 3 | 1 | 0 | 4.6 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 151 | 37 | 83 | 1 | 0 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 149 | 80 | 35 | 6 | 2 | 0 | 4.4 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 111 | 92 | 53 | 16 | 0 | 0 | 4.1 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 高すぎる | 3 少し高い | 2 少し低い | 1 低すぎる | 未答 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 155 | 66 | 37 | 10 | 4 | 0 | 4.3 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とてもそう思う(5) ■ややそう思う(4) ■普通(3) ■あまりそう思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|----------------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | (学部) 05 英語教育学科 | | |

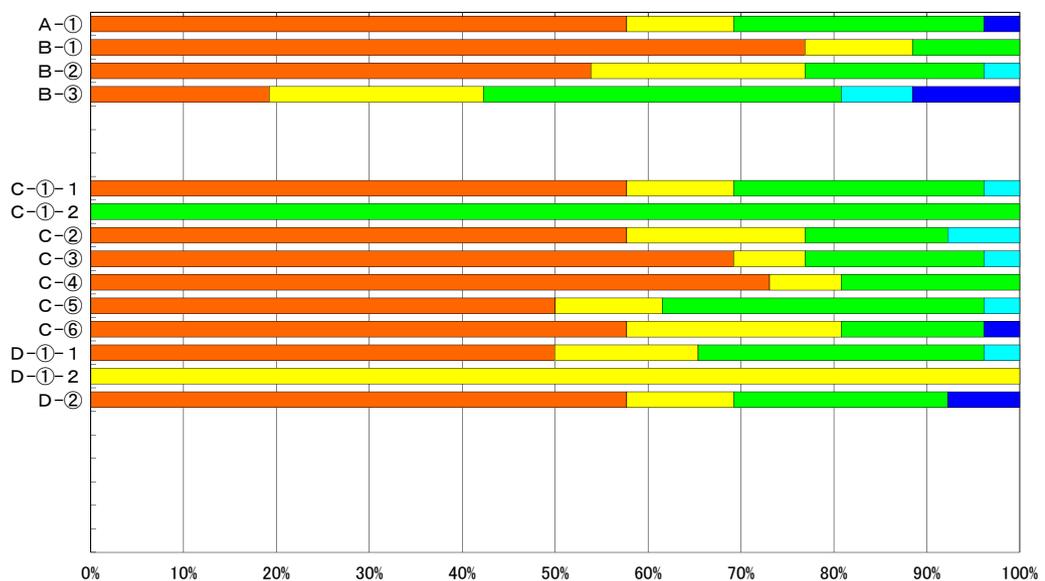
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-----|------|-----|
| 20生 | 0 | --- | --- |
| 19生 | 0 | --- | --- |
| 18生 | 25 | --- | --- |
| 17生以前 | 1 | --- | --- |
| その他 | 0 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 26 | 97 | 27% |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても そう 思う | 4 やや そう 思う | 3 普通 | 2 あまり そう 思わ ない | 1 そう は 思 わ な い | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------------|---------------------|-----------|----------------------------|----------------------------------|----|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 15 | 3 | 7 | 0 | 1 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 20 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 4.7 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 14 | 6 | 5 | 1 | 0 | 0 | 4.3 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 5 | 6 | 10 | 2 | 3 | 0 | 3.3 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 15 | 3 | 7 | 1 | 0 | 0 | 4.2 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 早すぎる | 3 少し早い | 2 少し遅い | 1 遅すぎる | 未答 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 15 | 5 | 4 | 2 | 0 | 0 | 4.3 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 18 | 2 | 5 | 1 | 0 | 0 | 4.4 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 19 | 2 | 5 | 0 | 0 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 13 | 3 | 9 | 1 | 0 | 0 | 4.1 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 15 | 6 | 4 | 0 | 1 | 0 | 4.3 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 13 | 4 | 8 | 1 | 0 | 0 | 4.1 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 高すぎる | 3 少し高い | 2 少し低い | 1 低すぎる | 未答 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 15 | 3 | 6 | 0 | 2 | 0 | 4.1 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とてもそう思う(5) ■ややそう思う(4) ■普通(3) ■あまりそう思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|----------------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | (学部) 06 世界教養学科 | | |

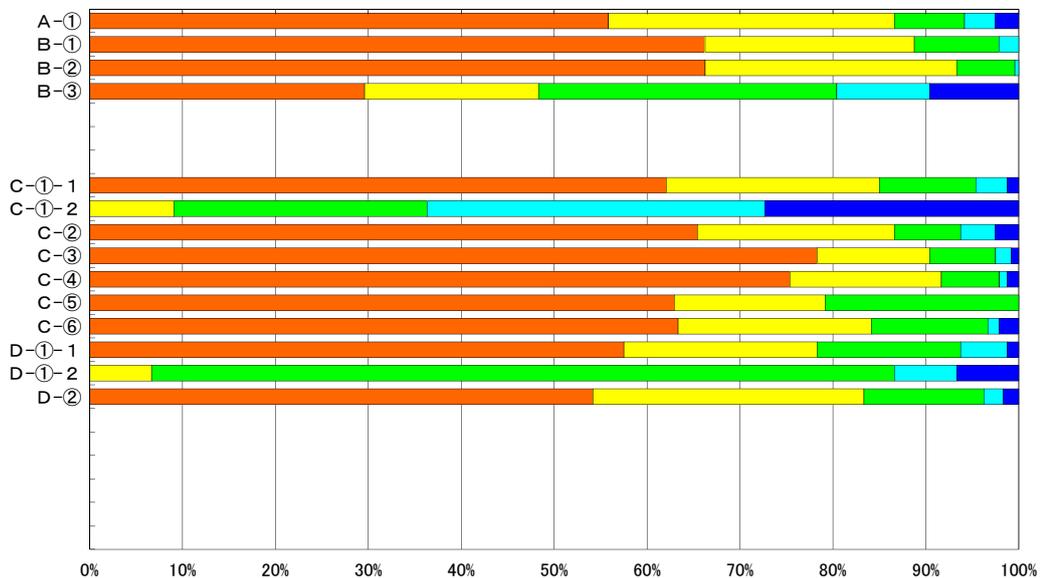
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-----|------|------|
| 20生 | 0 | --- | --- |
| 19生 | 0 | --- | --- |
| 18生 | 113 | --- | --- |
| 17生以前 | 126 | --- | --- |
| その他 | 1 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 240 | 715 | 34 % |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても 思う | 4 やや 思う | 3 普通 | 2 あまり 思わ ない | 1 そう 思わ ない | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------|---------------|-----------|----------------------|---------------------|----|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 134 | 74 | 18 | 8 | 6 | 0 | 4.3 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 159 | 54 | 22 | 5 | 0 | 0 | 4.5 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 159 | 65 | 15 | 1 | 0 | 0 | 4.6 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 71 | 45 | 77 | 24 | 23 | 0 | 3.5 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 149 | 55 | 25 | 8 | 3 | 0 | 4.4 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 早すぎる | 3 少し早い | 2 少し遅い | 1 遅すぎる | 未答 | | |
| | | 1 | 3 | 4 | 3 | 0 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 157 | 51 | 17 | 9 | 6 | 0 | 4.4 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 188 | 29 | 17 | 4 | 2 | 0 | 4.7 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 181 | 39 | 15 | 2 | 3 | 0 | 4.6 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 151 | 39 | 50 | 0 | 0 | 0 | 4.4 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 152 | 50 | 30 | 3 | 5 | 0 | 4.4 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 138 | 50 | 37 | 12 | 3 | 0 | 4.3 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 高すぎる | 3 少し高い | 2 少し低い | 1 低すぎる | 未答 | | |
| | | 1 | 12 | 1 | 1 | 0 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 130 | 70 | 31 | 5 | 4 | 0 | 4.3 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とても思う(5) ■やや思う(4) ■普通(3) ■あまり思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|-----------------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | (学部) 07 外国語学部共通 | | |

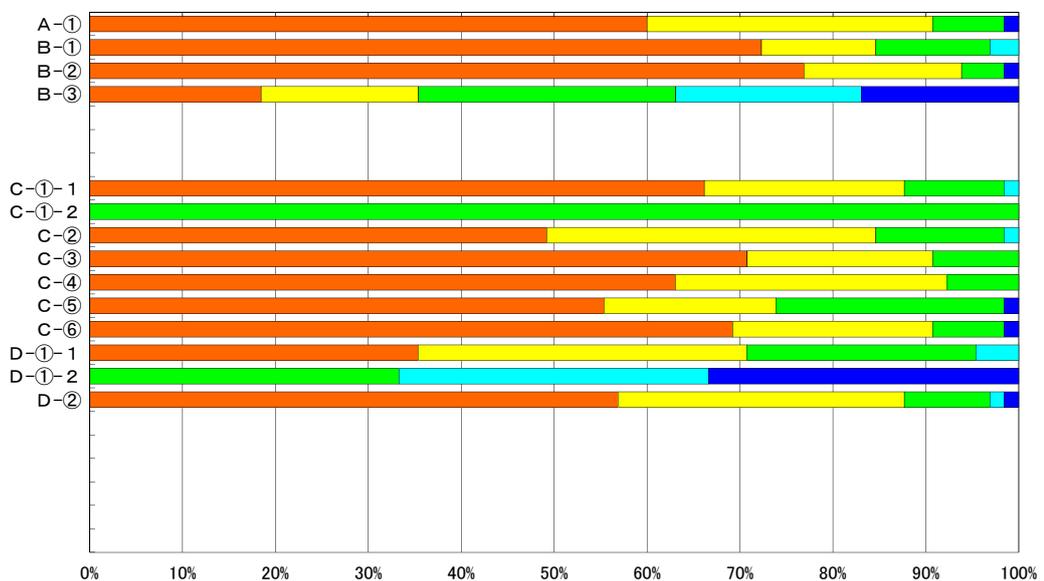
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-----|------|------|
| 20生 | 64 | --- | --- |
| 19生 | 1 | --- | --- |
| 18生 | 0 | --- | --- |
| 17生以前 | 0 | --- | --- |
| その他 | 0 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 65 | 124 | 52 % |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても そう 思う | 4 やや そう 思う | 3 普通 | 2 あまり そう 思わ ない | 1 そう は 思 わ な い | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------------|---------------------|-----------|----------------------------|----------------------------------|----|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 39 | 20 | 5 | 0 | 1 | 0 | 4.5 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 47 | 8 | 8 | 2 | 0 | 0 | 4.5 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 50 | 11 | 3 | 0 | 1 | 0 | 4.7 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 12 | 11 | 18 | 13 | 11 | 0 | 3.0 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 43 | 14 | 7 | 1 | 0 | 0 | 4.5 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 早すぎる | 3 少し早い | 2 少し遅い | 1 遅すぎる | 未答 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 32 | 23 | 9 | 1 | 0 | 0 | 4.3 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 46 | 13 | 6 | 0 | 0 | 0 | 4.6 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 41 | 19 | 5 | 0 | 0 | 0 | 4.6 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 36 | 12 | 16 | 0 | 1 | 0 | 4.3 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 45 | 14 | 5 | 0 | 1 | 0 | 4.6 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 23 | 23 | 16 | 3 | 0 | 0 | 4.0 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 高すぎる | 3 少し高い | 2 少し低い | 1 低すぎる | 未答 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 37 | 20 | 6 | 1 | 1 | 0 | 4.4 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とてもそう思う(5) ■ややそう思う(4) ■普通(3) ■あまりそう思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|----------------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | (学部) 08 現代英語学科 | | |

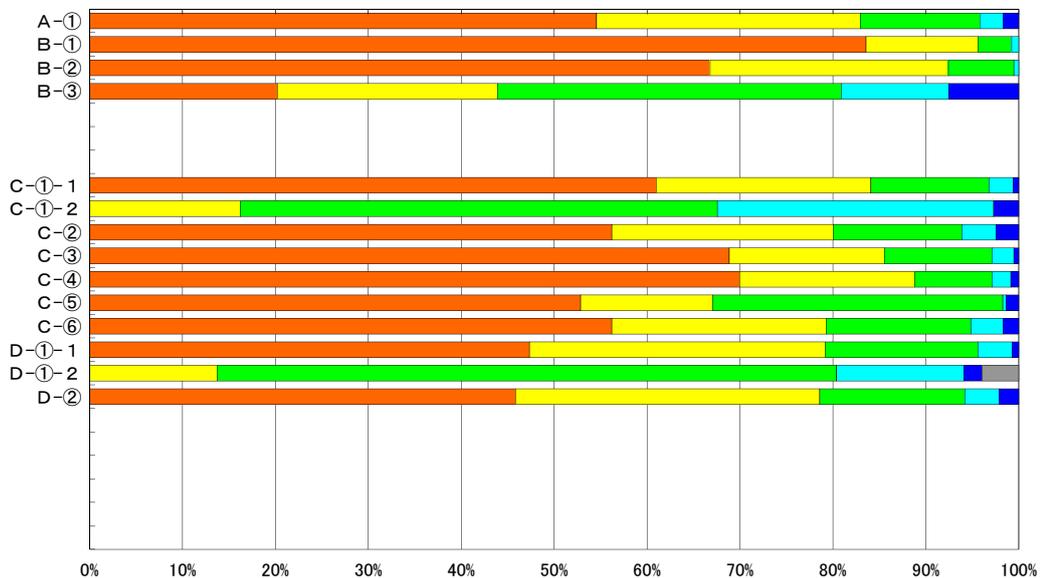
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-------|-------|------|
| 20生 | 658 | --- | --- |
| 19生 | 362 | --- | --- |
| 18生 | 92 | --- | --- |
| 17生以前 | 48 | --- | --- |
| その他 | 2 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 1,162 | 2,149 | 54 % |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても そう 思う | 4 やや そう 思う | 3 普通 | 2 あまり そう 思わ ない | 1 そう は 思 わ な い | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------------|---------------------|-----------|----------------------------|----------------------------------|----|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 634 | 330 | 150 | 29 | 19 | 0 | 4.3 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 971 | 140 | 42 | 9 | 0 | 0 | 4.8 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 776 | 298 | 82 | 6 | 0 | 0 | 4.6 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 235 | 275 | 430 | 135 | 87 | 0 | 3.4 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 709 | 268 | 148 | 30 | 7 | 0 | 4.4 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 早すぎる | 3 少し早い | 2 少し遅い | 1 遅すぎる | 未答 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 653 | 277 | 161 | 43 | 28 | 0 | 4.3 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 800 | 194 | 135 | 27 | 6 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 813 | 219 | 97 | 23 | 10 | 0 | 4.6 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 614 | 165 | 363 | 4 | 16 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 653 | 268 | 181 | 41 | 19 | 0 | 4.3 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 550 | 370 | 191 | 43 | 8 | 0 | 4.2 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 高すぎる | 3 少し高い | 2 少し低い | 1 低すぎる | 未答 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 533 | 380 | 182 | 43 | 24 | 0 | 4.2 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とてもそう思う(5) ■ややそう思う(4) ■普通(3) ■あまりそう思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|---------------------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | (学部) 09 グローバルビジネス学科 | | |

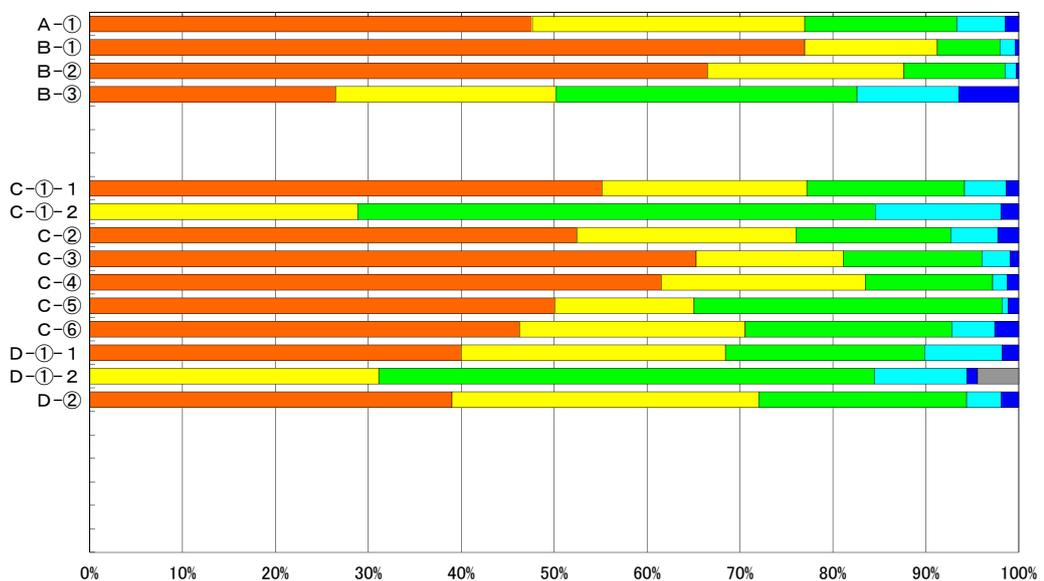
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-----|-------|-----|
| 20生 | 525 | --- | --- |
| 19生 | 282 | --- | --- |
| 18生 | 72 | --- | --- |
| 17生以前 | 11 | --- | --- |
| その他 | 0 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 890 | 2,178 | 41% |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても 思う | 4 やや 思う | 3 普通 | 2 あまり 思わ ない | 1 そう 思わ ない | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------|---------------|-----------|----------------------|---------------------|----|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 424 | 261 | 146 | 46 | 13 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 685 | 127 | 60 | 15 | 3 | 0 | 4.7 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 592 | 188 | 97 | 11 | 2 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 236 | 211 | 288 | 98 | 57 | 0 | 3.5 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 491 | 196 | 151 | 40 | 12 | 0 | 4.3 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 早すぎる | 3 少し早い | 2 少し遅い | 1 遅すぎる | 未答 | | |
| | | 15 | 29 | 7 | 1 | 0 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 467 | 210 | 148 | 45 | 20 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 581 | 141 | 133 | 27 | 8 | 0 | 4.4 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 548 | 195 | 122 | 14 | 11 | 0 | 4.4 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 446 | 133 | 295 | 6 | 10 | 0 | 4.1 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 412 | 216 | 198 | 41 | 23 | 0 | 4.1 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 356 | 253 | 191 | 74 | 16 | 0 | 4.0 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 高すぎる | 3 少し高い | 2 少し低い | 1 低すぎる | 未答 | | |
| | | 28 | 48 | 9 | 1 | 4 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 347 | 294 | 199 | 33 | 17 | 0 | 4.0 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とても思う(5) ■やや思う(4) ■普通(3) ■あまり思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|----------------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | (学部) 10 国際教養学科 | | |

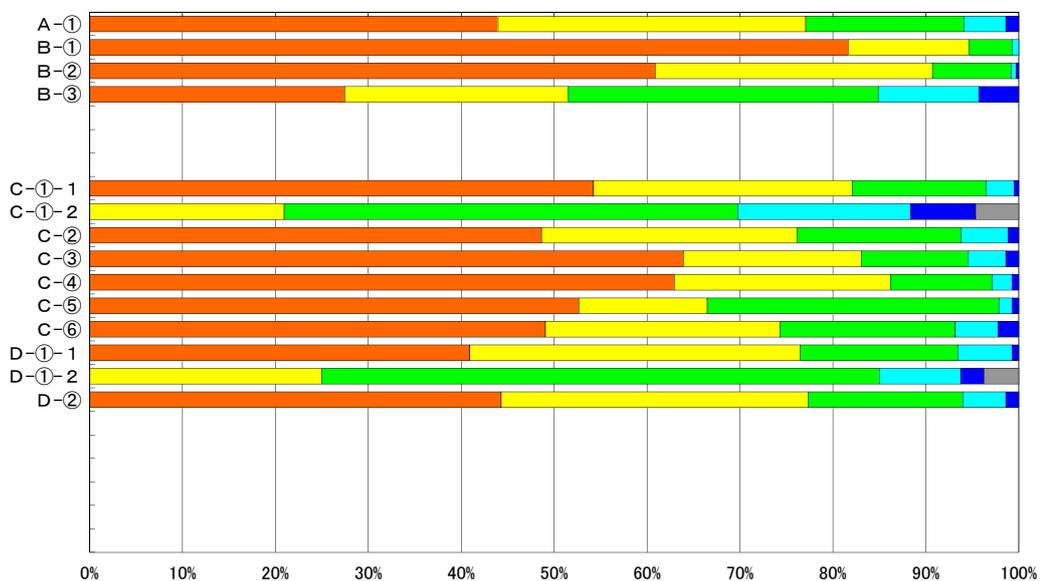
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-------|-------|------|
| 20生 | 569 | --- | --- |
| 19生 | 516 | --- | --- |
| 18生 | 80 | --- | --- |
| 17生以前 | 51 | --- | --- |
| その他 | 1 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 1,217 | 2,570 | 47 % |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても そう 思う | 4 やや そう 思う | 3 普通 | 2 あまり そう 思わな い | 1 そうは 思わな い | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------------|---------------------|-----------|----------------------------|----------------------|----|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 535 | 403 | 207 | 55 | 17 | 0 | 4.1 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 994 | 158 | 56 | 9 | 0 | 0 | 4.8 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 741 | 363 | 103 | 7 | 3 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 334 | 293 | 406 | 132 | 52 | 0 | 3.6 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 660 | 339 | 175 | 37 | 6 | 0 | 4.3 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 早すぎる | 3 少し早い | 2 少し遅い | 1 遅すぎる | 未答 | | |
| | | 9 | 21 | 8 | 3 | 2 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 592 | 335 | 214 | 62 | 14 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 778 | 233 | 140 | 49 | 17 | 0 | 4.4 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 766 | 283 | 133 | 26 | 9 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 641 | 168 | 382 | 18 | 8 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 597 | 307 | 230 | 56 | 27 | 0 | 4.1 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 498 | 433 | 206 | 72 | 8 | 0 | 4.1 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 高すぎる | 3 少し高い | 2 少し低い | 1 低すぎる | 未答 | | |
| | | 20 | 48 | 7 | 2 | 3 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 539 | 402 | 203 | 56 | 17 | 0 | 4.1 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とてもそう思う(5) ■ややそう思う(4) ■普通(3) ■あまりそう思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|------------------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | (学部) 11 現代国際学部共通 | | |

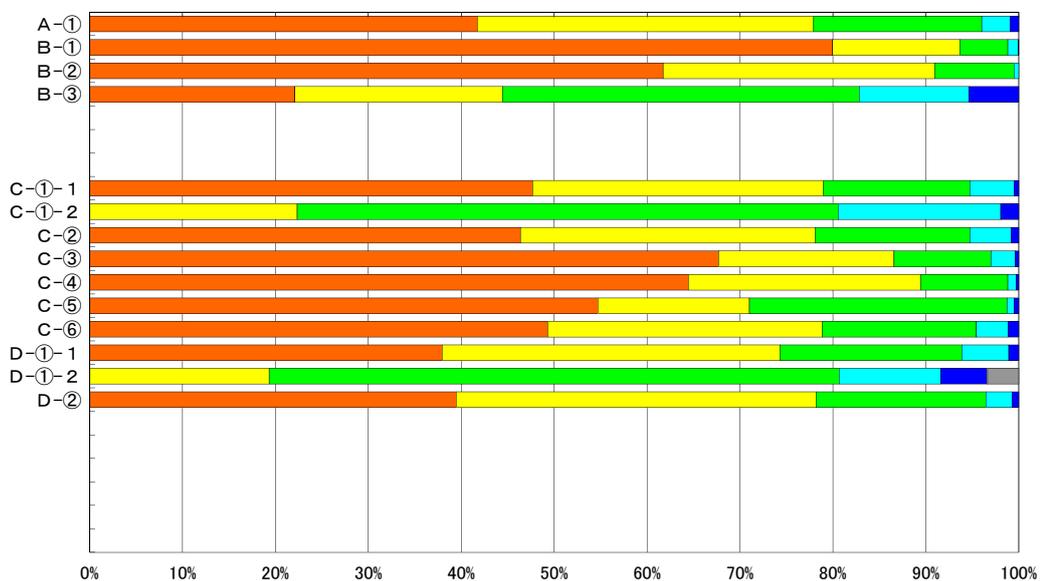
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-------|-------|------|
| 20生 | 945 | --- | --- |
| 19生 | 817 | --- | --- |
| 18生 | 140 | --- | --- |
| 17生以前 | 50 | --- | --- |
| その他 | 0 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 1,952 | 3,447 | 57 % |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても 思う | 4 やや 思う | 3 普通 | 2 あまり 思わ ない | 1 そう 思わ ない | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------|-----------------|-----------------|----------------------|---------------------|---------|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 815 | 706 | 353 | 61 | 17 | 0 | 4.1 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 1,561 | 268 | 100 | 22 | 1 | 0 | 4.7 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 1,205 | 570 | 168 | 9 | 0 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 431 | 437 | 749 | 231 | 104 | 0 | 3.4 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 931 | 611 | 307 | 94 | 9 | 0 | 4.2 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 早すぎる 23 | 3 少し早い 60 | 2 少し遅い 18 | 1 遅すぎる 2 | 未答 0 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 905 | 619 | 325 | 87 | 16 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 1,322 | 368 | 204 | 51 | 7 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 1,258 | 488 | 183 | 18 | 5 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 1,069 | 317 | 542 | 14 | 10 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 963 | 576 | 324 | 67 | 22 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 741 | 709 | 383 | 98 | 21 | 0 | 4.1 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 高すぎる 23 | 3 少し高い 73 | 2 少し低い 13 | 1 低すぎる 6 | 未答 4 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 771 | 755 | 358 | 55 | 13 | 0 | 4.1 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とても思う(5) ■やや思う(4) ■普通(3) ■あまり思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|----------------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | (学部) 12 世界共生学科 | | |

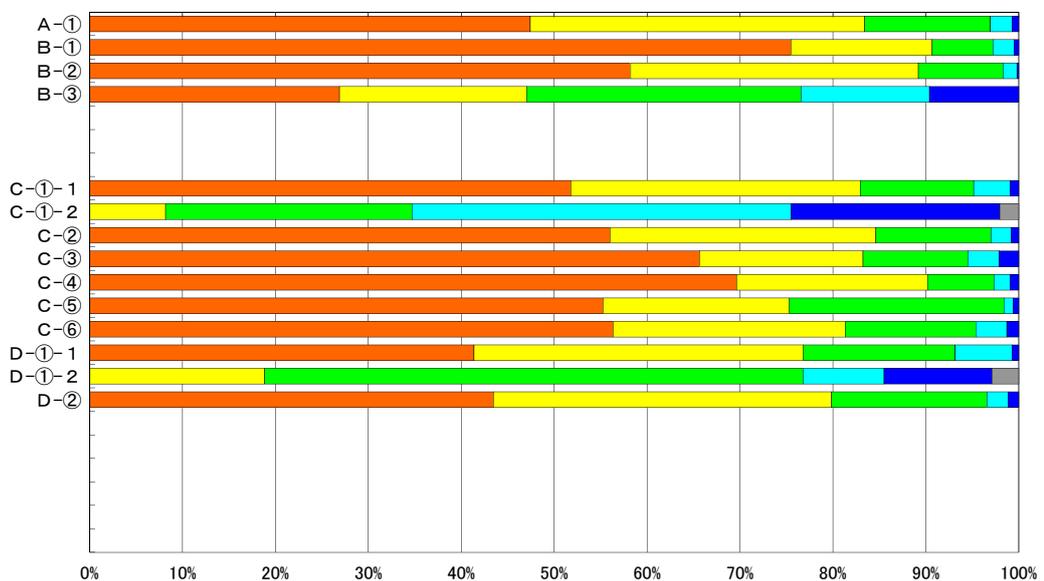
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-------|-------|------|
| 20生 | 570 | --- | --- |
| 19生 | 165 | --- | --- |
| 18生 | 221 | --- | --- |
| 17生以前 | 52 | --- | --- |
| その他 | 0 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 1,008 | 2,138 | 47 % |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても 思う | 4 やや 思う | 3 普通 | 2 あまり 思わ ない | 1 そう 思わ ない | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------|---------------|-----------|----------------------|---------------------|----|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 478 | 363 | 136 | 24 | 7 | 0 | 4.3 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 761 | 153 | 66 | 23 | 5 | 0 | 4.6 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 587 | 312 | 92 | 15 | 2 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 271 | 203 | 298 | 139 | 97 | 0 | 3.4 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 522 | 314 | 123 | 40 | 9 | 0 | 4.3 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまり思わないの場合 | | 4 早すぎる | 3 少し早い | 2 少し遅い | 1 遅すぎる | 未答 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 565 | 288 | 125 | 22 | 8 | 0 | 4.4 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 662 | 177 | 114 | 34 | 21 | 0 | 4.4 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 702 | 207 | 72 | 18 | 9 | 0 | 4.6 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 557 | 202 | 233 | 10 | 6 | 0 | 4.3 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 568 | 252 | 142 | 33 | 13 | 0 | 4.3 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 417 | 357 | 165 | 62 | 7 | 0 | 4.1 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまり思わないの場合 | | 4 高すぎる | 3 少し高い | 2 少し低い | 1 低すぎる | 未答 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 438 | 367 | 169 | 23 | 11 | 0 | 4.2 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とても思う(5) ■やや思う(4) ■普通(3) ■あまり思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|----------------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | (学部) 13 世界教養学科 | | |

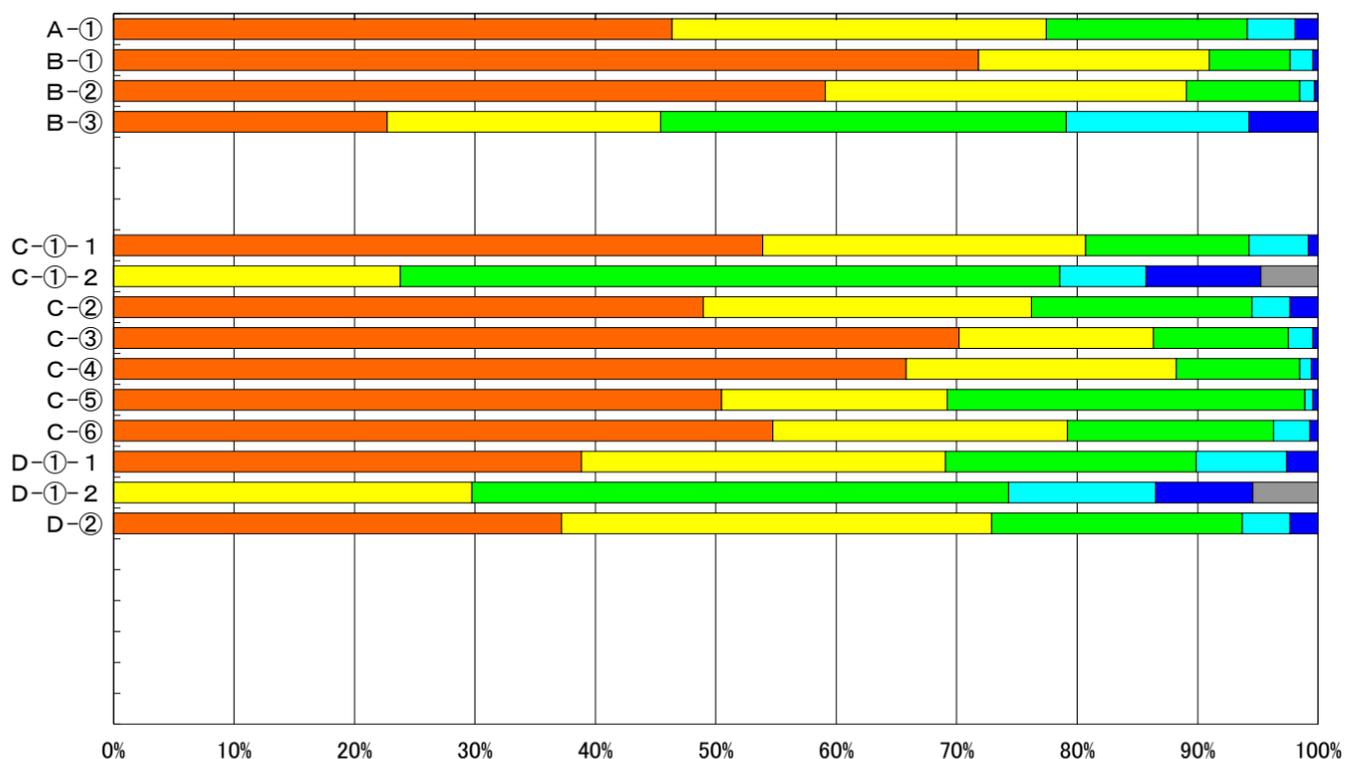
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-----|-------|------|
| 20生 | 479 | --- | --- |
| 19生 | 242 | --- | --- |
| 18生 | 6 | --- | --- |
| 17生以前 | 4 | --- | --- |
| その他 | 0 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 731 | 1,312 | 56 % |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても そう 思う | 4 やや そう 思う | 3 普通 | 2 あまり そう 思わ ない | 1 そう は 思 わ な い | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------------|---------------------|-----------|----------------------------|----------------------------------|----|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 339 | 227 | 122 | 29 | 14 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 525 | 140 | 49 | 14 | 3 | 0 | 4.6 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 432 | 219 | 69 | 9 | 2 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 166 | 166 | 246 | 111 | 42 | 0 | 3.4 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 394 | 196 | 99 | 36 | 6 | 0 | 4.3 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 早すぎる | 3 少し早い | 2 少し遅い | 1 遅すぎる | 未答 | | |
| | | 10 | 23 | 3 | 4 | 2 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 358 | 199 | 134 | 23 | 17 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 513 | 118 | 82 | 15 | 3 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 481 | 164 | 75 | 7 | 4 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 369 | 137 | 217 | 5 | 3 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 400 | 179 | 125 | 22 | 5 | 0 | 4.3 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 284 | 221 | 152 | 55 | 19 | 0 | 4.0 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 高すぎる | 3 少し高い | 2 少し低い | 1 低すぎる | 未答 | | |
| | | 22 | 33 | 9 | 6 | 4 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 272 | 261 | 152 | 29 | 17 | 0 | 4.0 | 4.1 |

＜評価帯グラフ＞

■とてもそう思う(5) ■ややそう思う(4) ■普通(3) ■あまりそう思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|----------------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | (学部) 14 国際日本学科 | | |

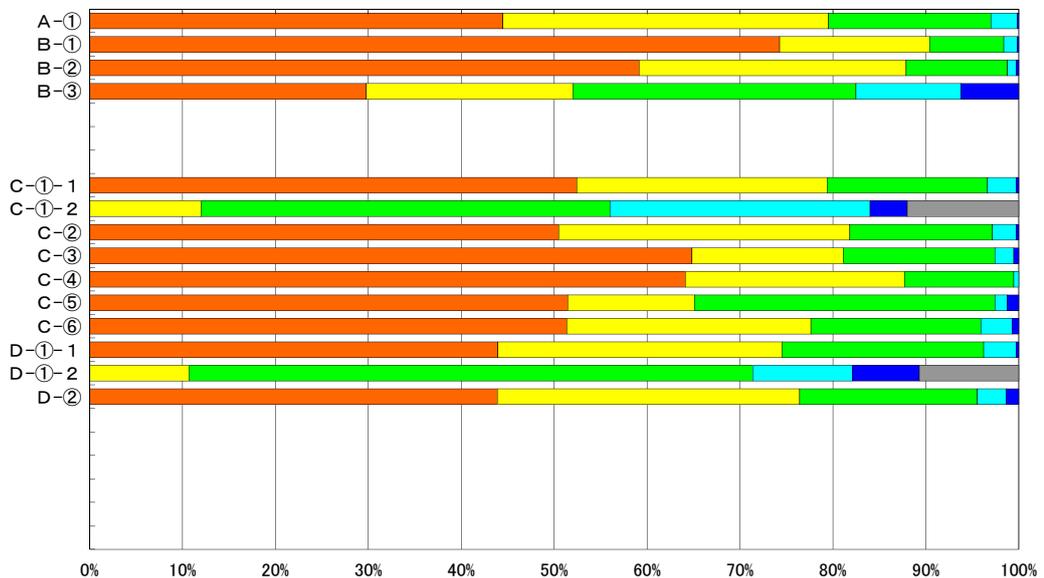
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-----|-------|------|
| 20生 | 385 | --- | --- |
| 19生 | 339 | --- | --- |
| 18生 | 14 | --- | --- |
| 17生以前 | 4 | --- | --- |
| その他 | 0 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 742 | 1,024 | 72 % |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても 思う | 4 やや 思う | 3 普通 | 2 あまり 思わ ない | 1 そう 思わ ない | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------|---------------|-----------|----------------------|---------------------|----|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 330 | 260 | 130 | 21 | 1 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 551 | 120 | 59 | 11 | 1 | 0 | 4.6 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 439 | 213 | 81 | 7 | 2 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 221 | 165 | 226 | 84 | 46 | 0 | 3.6 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 389 | 200 | 128 | 23 | 2 | 0 | 4.3 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 早すぎる | 3 少し早い | 2 少し遅い | 1 遅すぎる | 未答 | | |
| | | 3 | 11 | 7 | 1 | 3 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 375 | 232 | 114 | 19 | 2 | 0 | 4.3 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 481 | 121 | 121 | 15 | 4 | 0 | 4.4 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 476 | 175 | 87 | 4 | 0 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 382 | 101 | 240 | 10 | 9 | 0 | 4.1 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 381 | 195 | 136 | 25 | 5 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 326 | 227 | 161 | 26 | 2 | 0 | 4.1 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 高すぎる | 3 少し高い | 2 少し低い | 1 低すぎる | 未答 | | |
| | | 3 | 17 | 3 | 2 | 3 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 326 | 241 | 142 | 23 | 10 | 0 | 4.1 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とても思う(5) ■やや思う(4) ■普通(3) ■あまり思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|------------------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | (学部) 15 世界教養学部共通 | | |

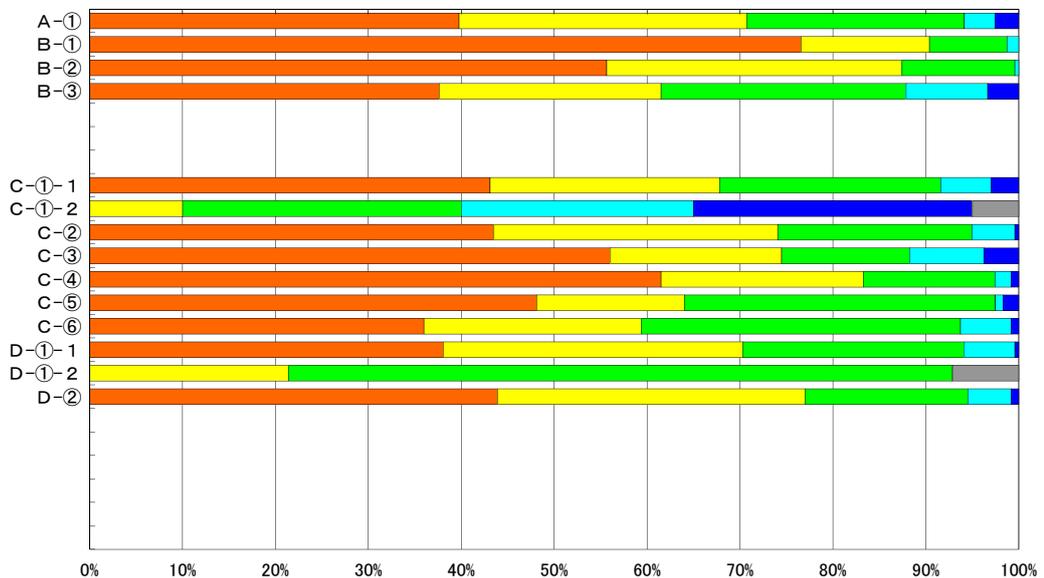
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-----|------|-----|
| 20生 | 155 | --- | --- |
| 19生 | 84 | --- | --- |
| 18生 | 0 | --- | --- |
| 17生以前 | 0 | --- | --- |
| その他 | 0 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 239 | 417 | 57% |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても 思う | 4 やや 思う | 3 普通 | 2 あまり 思わ ない | 1 そう 思わ ない | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------|---------------|-----------|----------------------|---------------------|----|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 95 | 74 | 56 | 8 | 6 | 0 | 4.0 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 183 | 33 | 20 | 3 | 0 | 0 | 4.7 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 133 | 76 | 29 | 1 | 0 | 0 | 4.4 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 90 | 57 | 63 | 21 | 8 | 0 | 3.8 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 103 | 59 | 57 | 13 | 7 | 0 | 4.0 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまり思わないの場合 | | 4 早すぎる | 3 少し早い | 2 少し遅い | 1 遅すぎる | 未答 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 104 | 73 | 50 | 11 | 1 | 0 | 4.1 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 134 | 44 | 33 | 19 | 9 | 0 | 4.2 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 147 | 52 | 34 | 4 | 2 | 0 | 4.4 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 115 | 38 | 80 | 2 | 4 | 0 | 4.1 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 86 | 56 | 82 | 13 | 2 | 0 | 3.9 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 91 | 77 | 57 | 13 | 1 | 0 | 4.0 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまり思わないの場合 | | 4 高すぎる | 3 少し高い | 2 少し低い | 1 低すぎる | 未答 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 105 | 79 | 42 | 11 | 2 | 0 | 4.1 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とても思う(5) ■やや思う(4) ■普通(3) ■あまり思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|---------------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | (学部) 16 学部間合同 | | |

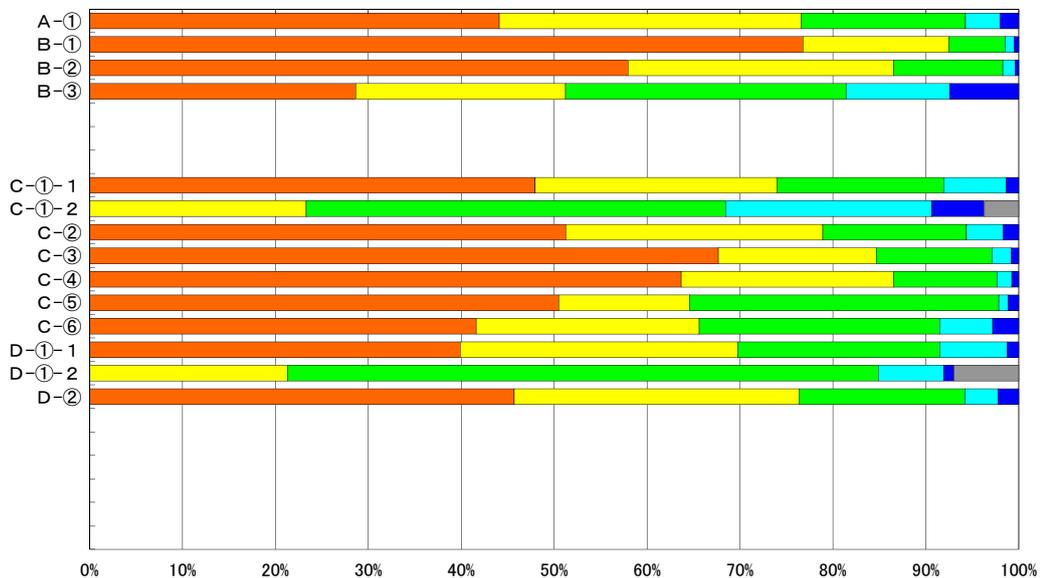
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-------|-------|------|
| 20生 | 1,592 | --- | --- |
| 19生 | 1,726 | --- | --- |
| 18生 | 765 | --- | --- |
| 17生以前 | 275 | --- | --- |
| その他 | 12 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 4,370 | 9,815 | 45 % |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても 思う | 4 やや 思う | 3 普通 | 2 あまり 思わ ない | 1 そう 思わ ない | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------|---------------|-----------|----------------------|---------------------|----|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 1,926 | 1,421 | 772 | 164 | 87 | 0 | 4.1 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 3,355 | 686 | 265 | 45 | 19 | 0 | 4.7 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 2,535 | 1,245 | 515 | 58 | 17 | 0 | 4.4 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 1,254 | 984 | 1,320 | 490 | 322 | 0 | 3.5 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 2,095 | 1,138 | 785 | 293 | 59 | 0 | 4.1 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 早すぎる | 3 少し早い | 2 少し遅い | 1 遅すぎる | 未答 | | |
| | | 82 | 159 | 78 | 20 | 13 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 2,240 | 1,208 | 676 | 172 | 74 | 0 | 4.2 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 2,957 | 743 | 545 | 89 | 36 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 2,782 | 999 | 487 | 69 | 33 | 0 | 4.5 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 2,206 | 616 | 1,454 | 45 | 49 | 0 | 4.1 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 1,818 | 1,049 | 1,131 | 249 | 123 | 0 | 4.0 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 1,743 | 1,305 | 951 | 316 | 55 | 0 | 4.0 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 高すぎる | 3 少し高い | 2 少し低い | 1 低すぎる | 未答 | | |
| | | 79 | 236 | 26 | 4 | 26 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 1,997 | 1,339 | 780 | 157 | 97 | 0 | 4.1 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とても思う(5) ■やや思う(4) ■普通(3) ■あまり思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|--------------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | (大学院) 18 大学院 | | |

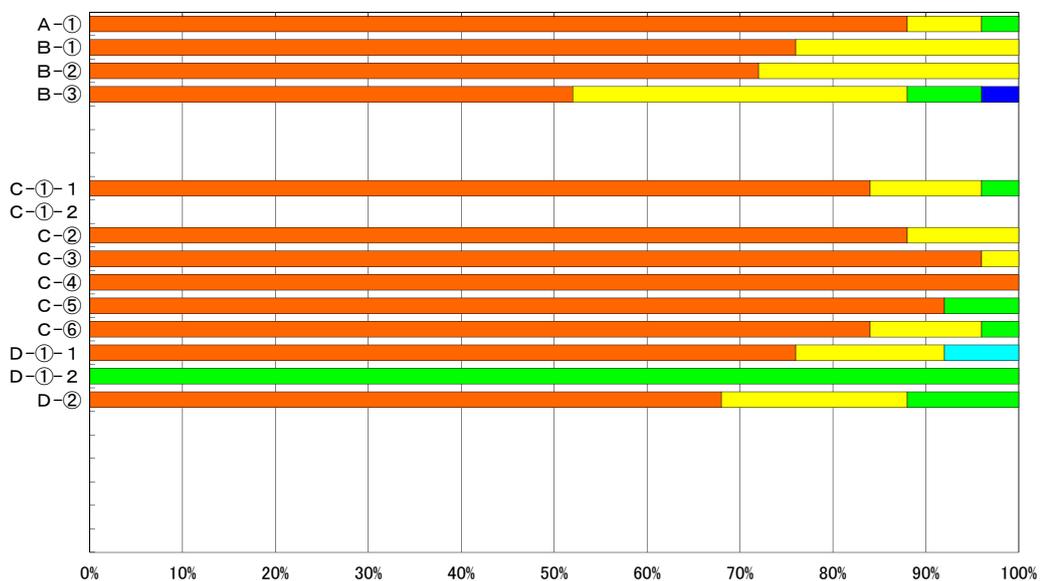
| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-----|------|-----|
| 20生 | 6 | --- | --- |
| 19生 | 0 | --- | --- |
| 18生 | 0 | --- | --- |
| 17生以前 | 8 | --- | --- |
| その他 | 11 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 25 | 35 | 71% |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても 思う | 4 やや 思う | 3 普通 | 2 あまり 思わ ない | 1 そう 思わ ない | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------|---------------|-----------|----------------------|---------------------|----|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 22 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4.8 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 19 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4.8 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 18 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4.7 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 13 | 9 | 2 | 0 | 1 | 0 | 4.3 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 21 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4.8 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 早すぎる | 3 少し早い | 2 少し遅い | 1 遅すぎる | 未答 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 22 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4.9 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 24 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5.0 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 25 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5.0 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 23 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 4.8 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 21 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4.8 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 19 | 4 | 0 | 2 | 0 | 0 | 4.6 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 高すぎる | 3 少し高い | 2 少し低い | 1 低すぎる | 未答 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 17 | 5 | 3 | 0 | 0 | 0 | 4.6 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とても思う(5) ■やや思う(4) ■普通(3) ■あまり思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答



授業科目別評価結果

| | | | |
|-------------|------------|----|--|
| (教員コード) 教員名 | | | |
| 科目コード | | 曜日 | |
| 授業コード | | 講時 | |
| 授業科目名 | (別科) 19 別科 | | |

| 入学年度 | 回答数 | 受講者数 | 回収率 |
|-------|-----|------|-----|
| 20生 | 9 | --- | --- |
| 19生 | 0 | --- | --- |
| 18生 | 0 | --- | --- |
| 17生以前 | 0 | --- | --- |
| その他 | 8 | --- | --- |
| 不明 | 0 | --- | --- |
| 合計 | 17 | 95 | 18% |

質問別回答集計表(人数と平均値)

| | 5 とても そう 思う | 4 やや そう 思う | 3 普通 | 2 あまり そう 思わ ない | 1 そう は 思 わ な い | 未答 | 平均 | 全体平均 |
|--------------------------------|----------------------|---------------------|-----------|----------------------------|----------------------------------|----|-----|------|
| A-① この授業は、全体として満足であった。 | 11 | 5 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4.5 | 4.2 |
| B-① この授業には、休まず出席していた。 | 12 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4.7 | 4.7 |
| B-② この授業には、真剣な態度で受講した。 | 11 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4.6 | 4.5 |
| B-③ この授業の登録前または履修中に、シラバスを活用した。 | 8 | 8 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4.4 | 3.5 |
| C-①-1 授業の進み具合は適切であった。 | 14 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4.8 | 4.3 |
| C-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 早すぎる | 3 少し早い | 2 少し遅い | 1 遅すぎる | 未答 | | |
| C-② 教員はわかり易く説明していた。 | 15 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4.8 | 4.2 |
| C-③ 授業の開始時間、終了時間はきちんと守られていた。 | 15 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4.8 | 4.5 |
| C-④ 教員は授業に熱意を持って取り組んでいた。 | 11 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4.6 | 4.5 |
| C-⑤ 授業中の私語には適切な処置がとられていた。 | 14 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4.6 | 4.2 |
| C-⑥ 学生が積極的に授業に参加できるよう配慮されていた。 | 9 | 5 | 1 | 0 | 2 | 0 | 4.1 | 4.2 |
| D-①-1 授業のレベルは、自分にとって適切であった。 | 15 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4.9 | 4.1 |
| D-①-2 そうは思わない、あまりそう思わないの場合 | | 4 高すぎる | 3 少し高い | 2 少し低い | 1 低すぎる | 未答 | | |
| D-② この授業に大変興味を持てた。 | 12 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4.7 | 4.1 |

〈評価帯グラフ〉

■とてもそう思う(5) ■ややそう思う(4) ■普通(3) ■あまりそう思わない(2) ■そうは思わない(1) ■未答

